

平成 28 年 版

消 防 年 報



足 利 市 消 防 本 部

(平成 29 年刊行)

足利市民憲章

(昭和45年5月5日制定)

私たちは、自然にめぐまれ、はるかなる昔から文化がひらけていた学問のまち、産業のまち足利市を心から愛し、より美しく、より豊かにするためにこの憲章を定めます。

1. 足利市は日本最古の学校のあるまちです。

教養を深め、文化のかおり高いまちをつくり、すぐれた伝統をさらに発展させましょう。

1. 足利市は美しいまちです。

めぐまれた自然を愛し、清潔で健康なまちをつくりましょう。

1. 足利市は善意のまちです。

理解と信頼をもって、みんなのしあわせのためにお互いに助け合いましょう。

1. 足利市は希望にみちたまちです。

明るい家庭をつくり、次代をになうこどもに誇りと希望をもたせましょう。

1. 足利市は伸びゆくまちです。

しごとを愛し、みんなの創意で時代の進歩に調和した活気のあるまちをつくりましょう。

市の木・市の花

市の木 か え で

カエデ科、葉が掌状に裂け、秋美しく紅葉し、果実に翅（はね）がある落葉高木の総称

市の花 つ つ じ

ツツジ科のツツジ属のうち、ヤマツツジ、ミツバツツジ、レンゲツツジの類の総称

目 次

足利市のあらまし	1
足利市の消防機関配置図	2
足利消防のあゆみ	3
総 務 編	
消防組織	14
消防職員配置状況	14
消防職員年齢表	15
消防職員在職年数表	16
市総予算と消防予算（一般会計）	16
消防庁舎の現況	17
平成28年度主要事業	18
通信指令編	
通信指令施設等の現況	20
災害・予警報受理状況	21
消防通信指令施設系統図	24
予 防 編	
指定防火対象物数	25
建築物同意事務処理状況	26
消防用設備等検査数	26
中高層（4階以上）建物の現況	27
危険物施設の現況	27
貯蔵取扱倍数別危険物施設数	28
各種申請届出等事務処理状況	29
消防広報等実施状況	30
各種防火団体	31
警 防 編	
消防車両の配置状況	34
主な消防機器の配備状況	35
水防資器材一覧	37
山林火災器具	38
消防水利の現況	38
気象年報	39
火 災 編	
火災発生状況総括表	40
過去5年間の火災発生状況	41
地区別火災発生状況	42
分団別火災発生状況	43
出火原因別火災発生状況	44

救 急 編

救急出動件数（10年間の推移）	45
救急出動内訳（平成28年中）	45
月別救急出動件数	46
月別事故種別救急出動件数	46
曜日別出動件数	47
時間別出動件数	47
覚知別出動件数	47
署別出動件数	48
地区別出動件数	48
年齢別搬送人員	49
事故種別・傷病程度別搬送人員	49
急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員	50
救急隊員の行った応急処置件数	51
応急手当指導件数	51

救 助 編

救助出動及び活動状況	52
署別出動状況	52
月別出動状況	53

消 防 団 編

消防団の組織	54
消防団員の在職年数及び年齢	55
分団詰所の現況	56
消防車両の配置状況	57

足利市のあらまし

沿革

足利市は、室町幕府を開いた足利氏の発祥の地として、また、日本最古の学校「足利学校」や足利氏ゆかりの「饗阿寺」で象徴されるように、文化と史跡のまちとして知られ、上古の時代には、関東地方の政治上の重要地として栄え、奈良時代から“織物のまち足利”の名は文献にも明らかにされています。昭和初期にかけては、特産の「足利銘仙」が全国的に名を高め、戦後に至ってからは、トリコット産業が隆盛を極め、さらに、メリヤス、婦人服などを含めた総合的な繊維産業のまちとして発展を遂げてきました。

また、一方では、プラスチック製造、一般機械器具、化学・合成樹脂、アルミ金属製品やゴム工業等が発展し、特に首都圏内の都市開発区域に指定されてからは、総合的な工業都市へと変貌しつつあります。

さらに、商業においては、中心商店街と、新たに商業集積が形成されてきた河南地域が、商業拠点として拡大しており、近隣都市からの衆目を集めています。

地勢

足利市は、関東平野の北方に連なる低山岳地帯と平野部の境にあつて、日光市足尾町に源を発する渡良瀬川が市の中央部を東西に流れ、北には日光の男体山、西には赤城山や浅間山を望むことができ、南には広大な関東平野がひらける豊かな自然に恵まれたまちです。

また、東京から80kmの首都圏内にあり、東と北に佐野市、西は群馬県桐生市、南は群馬県館林市・邑楽郡邑楽町・太田市に隣接し、両毛経済圏のほぼ中心部にあります。

気候は比較的温和ですが、冬から春先にかけて“赤城おろし”とか“からっ風”などと呼ばれる、上州名物の強い北西の季節風が吹くことがあります。

地理的条件

面積	177.76km ²	東西	18.8km
		南北	19.1km
海拔	最高 662.9m	最低	20.2m
消防本部の位置	東経 139度28分	北緯	36度21分

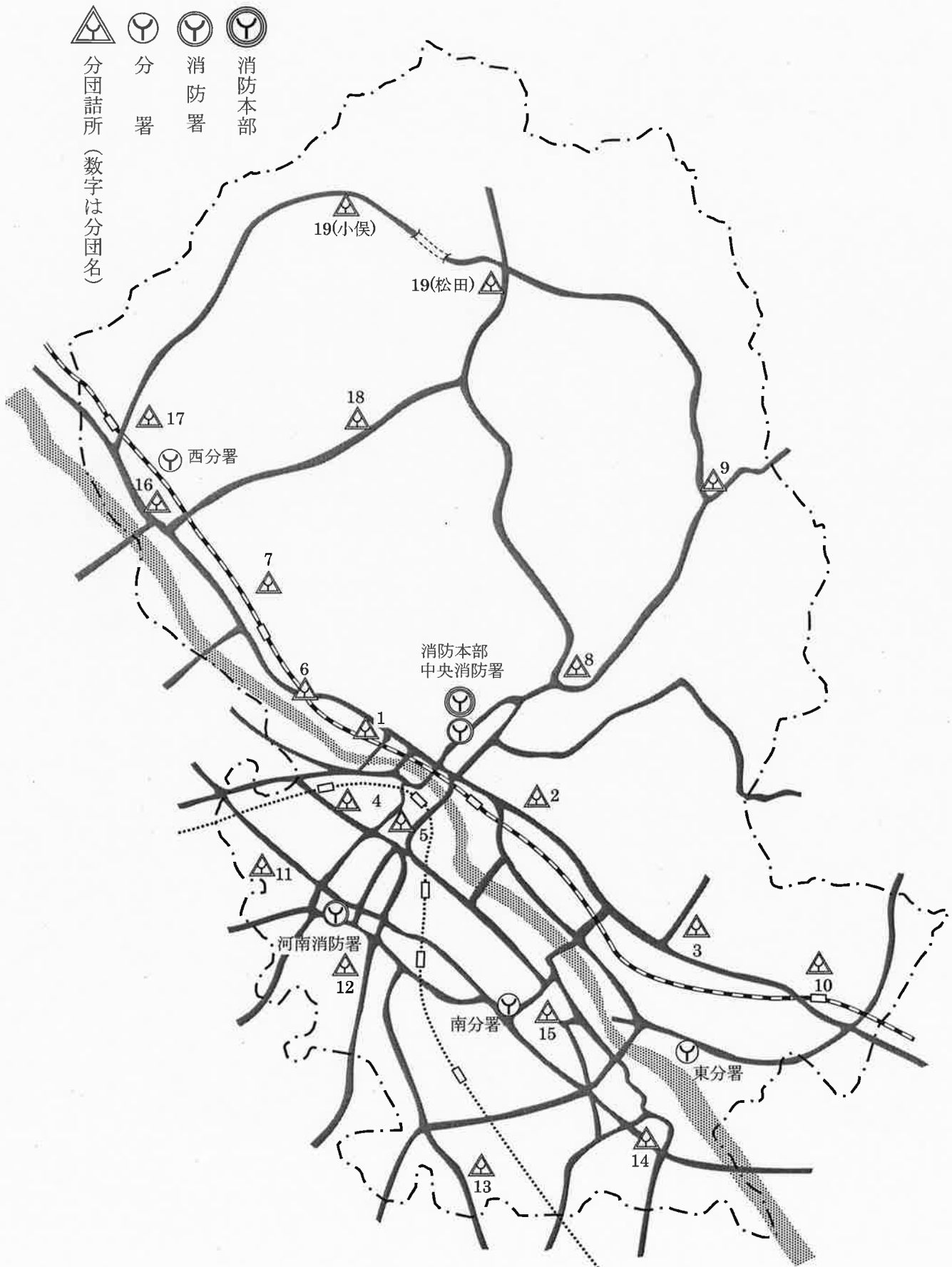
世帯数、人口（推計）

（各年4月1日現在）

区分 年度	人口			世帯数	1世帯当り 人口	1km ² につき	
	計	男	女			人口	世帯数
平成25年	151,427	74,105	77,322	62,064	2.4	852	349
	3,158	1,565	1,593	1,643	1.9	18	9
	-	-	-	598	-	-	3
平成26年	150,327	73,518	76,809	62,362	2.4	845	351
	3,199	1,629	1,570	1,697	1.9	18	10
	-	-	-	613	-	-	3
平成27年	149,385	73,125	76,260	62,796	2.4	840	353
	3,367	1,774	1,593	1,837	1.8	19	10
	-	-	-	633	-	-	4
平成28年	148,168	72,540	75,628	62,955	2.4	833	354
	3,669	1,940	1,729	2,070	1.8	21	12
	-	-	-	641	-	-	4
平成29年	146,891	71,951	74,940	63,107	2.3	826	355
	3,997	2,139	1,858	2,319	1.7	22	13
	-	-	-	637	-	-	4

※世帯数は上段/日本人、中段/外国人、下段/複数国籍となります。

足利市の消防機関配置図



足利消防のあゆみ

足利消防は、享保年間にその端を発したことが史実によって明確である。以下そのあゆみの大要は次のとおりである。

- 享保 20. はしご、水かご、手桶、鳶口等の消防装備を保有した。
- 明治 9. 雲竜水、竜吐水を保有した。
11. 4. 各地区単独の消防組織ができた。
19. 2. 足利町消防組規則が制定され消防組が組織された。
22. 4. 1 町制が施行された。
27. 2. 9 勅令第15号をもって消防組規則が公布され足利町消防組に改組し、腕用ポンプ10台が整備された。
5. 消防組は5部編成となり定員を500名とした。
44. 蒸気ポンプ1台を購入した。
- 大正元 蒸気ポンプ1台を増車した。
10. 1. 1 市制が施行された。
市制施行により足利市消防組と改称し定員を445名とした。
10. 手引ガソリンポンプ1台を購入した。
11. 手引ガソリンポンプ1台を増車した。
13. 手引ガソリンポンプ1台を増車した。
1ヵ年無火災につき足利警察署長から表彰された。
15. 9. 15 足利市消防組常設消防部が定員6名で開設された。
消防ポンプ自動車1台を初めて購入し、常備部へ配置した。
- 昭和 2. 消防組常備部に火の見櫓が建設された。火災専用電話を新設した。
3. 火災報知機新設工事を着手した。(工費22,250円)
4. 5. 4 火災報知機工事が完成した。(受信機1基・発信機65基)(市街地)
6. 4. 1 消防組常備部の定員6名を3名増員し9名とした。
消防ポンプ自動車1台を増車した。(常備部)
消防組を改組し定員445名を191名に減じた。
12. 2 財団法人大日本消防協会から優良消防組として旌旗が授与された。
8. 2. 11 県消防協会長から優良消防組として表彰された。
9. 9. 15 オート三輪自動車ポンプ1台を増車した。(第3部)
10. 消防組を改組し定員191名を186名に減じた。
12. 足利市警備係及び常備消防手の制限を制定した。
13. 4. 1 消防組常備部の定員を11名とした。
14. 3. 31 昭和14.1.24勅令第20号をもって警防団令が公布され消防組及び防護団が廃止された。
4. 1 勅令をもって警防団令が公布されたのにもない足利市警防団を組織し、団長1・副団長2・分団長6・副分団長12・部長18・班長66・団員618・工作部30・救護部30・防毒部30・計813名とした。1箇分団の定員を120名として分団長1・副分団長2・部長3・班長11・団員103名で6箇分団編成とした。
16. 3. 25 大日本警防協会から優良警防団として表彰旗が授与された。
4. 1 消防組常備部の定員を14名とした。
5. 3 消防ポンプ自動車3台を購入した。(第3・4・5分団)
8. 14 消防ポンプ自動車3台を購入した。(第1・2・6分団)
9. 1 分団の定員120名をそれぞれ133名に増員した。
17. 2. 11 県知事から成績優秀な警防団として竿頭綬を授与された。

- 昭和 17. 5. 第2・3分団詰所を新築した。(通2丁目・伊勢町)
8. 市の行政機構を改革し、警防課を新設した。
8. 14 警防団常備部用救急自動車を配置した。
10. 12 警防団本部・常備消防部庁舎を新設した。(延528㎡)
11. 2 市の行政機構を改革し、警防課を防護課と改称した。
18. 10. 5 第4分団詰所を新築した。
10. 22 防衛・土木・水道の3係を合併、警防工作課に改称し市の機構を改めた。
19. 4. 29 第1分団詰所を新築した。(通6丁目)
10. 15 第6分団詰所を新築した。(柳原町)
11. 12 第5分団詰所を新築した。(大町)
19. 第2・6分団に予備消防ポンプ自動車を配置した。
(地元有志の寄付による)
20. 第3分団消防ポンプ自動車帝都応援のため供出したので補充として1台を購入した。
21. 2. 4 警防団の改組により定員813名を383名に減じた。
3. 5 市の機構改正によって警防事務を庶務課に移した。
21. 常備部の定員14名を2名増員し、16名として強化を図り消防ポンプ自動車を4台とした。
22. 11. 3 昭和22.4.20勅令第185号をもって消防団令の公布により警防団が廃止された。勅令をもって消防団令が公布されたのにもない、即日足利市消防団を編成、組織は団長1・副団長2・分団長6・副分団長6・部長12・班長30・団員246名とし、1箇分団の定員は分団長1・副分団長1・部長2・班長5・団員41の計50名、6箇分団編成とした。更に常備部19、計322名となった。
23. 3. 初代消防長に木村浅七氏が就任した。
7. 24 消防組織法の制定公布により足利市消防団に改めた。
12. 1 団旗及び分団旗を新調した。
24. 6. 1 消防組織法の制定により足利市消防本部・消防署が発足した。
(人員20名)
10. 12 水槽付消防ポンプ自動車1台を購入した。
25. 火災報知機20基を増設した。
8. 1 国家消防庁長官から優良消防団として表彰された。
26. 3. 30 毛野村合併により2箇分団増設、定員を404名とした。
4. 1 消防本部の定員を30名とした。
5. 6 オート三輪消防ポンプ自動車1台を購入した。(第8分団)
27. 4. 1 消防団組織の少数精鋭主義により、定員404名を243名に減じた。
11. 1 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第5分団)
28. 4. 1 山辺町合併により3箇分団増設、定員を333名とした。
12. 10 足利市消防賞じゅつ金条例が制定された。
29. 4. 1 消防本部の定員を32名とした。
8. 1 三重・山前村合併により4箇分団増設、定員を453名とした。
11. 1 北郷・名草村合併により3箇分団増設、定員を543名とした。
11. 22 第2代消防長に瀧島新三郎氏が就任した。
12. 8 消防ポンプ自動車2台・オート三輪消防ポンプ自動車1台を購入した。(署増車、第6・17分団更新)
29. 火災報知機15基を増設した。

- 昭和 30. 5. 1 気象観測装置を設置し観測を開始した。
8. 6 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第2・3分団)
9. 28 消防専用中短波無線電話装置を整備した。
12. 15 消防ポンプ自動車を救急車に改造し救急業務を開始した。
30. 火災報知機20基を増設した。
31. 8. 1 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第1・4分団)
11. 25 火災報知機36基を増設した。
32. 3. 1 国家消防本部長から優良消防機関として表彰旗が授与された。
10. 15 火災報知機受信機1基を増設した。(署)
12. 17 救急車1台を更新した。
12. 31 水槽付消防ポンプ自動車1台を増車した。
33. 4. 1 指令車1台を購入した。
11. 1 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第7分団)
34. 4. 1 富田村合併により1箇分団増設、定員を573名とした。
5. 6 第7代消防団長に長竹寅治氏が就任した。
8. 1 富田分遣所が開設された。
消防ポンプ自動車2台を購入した。(富田分遣所、第8分団更新)
化学消防ポンプ自動車1台を購入した。
火災報知機12基を増設した。
12. 1 消防本部の定員を52名とした。
35. 7. 1 矢場川村合併により1箇分団増設、定員を603名とした。
11. 1 火災報知機23基を増設した。
36. 5. 10 消防団の機構整備を行い、従来20箇分団編成であったが、これを11箇分団編成に縮小し、定員333名とし、その組織は団長1・副団長2・分団長11・副分団長11・部長11・副部長11・班長33・団員253名とした。
7. 10 山辺分遣所が開設された。
37. 9. 28 第8分団詰所を新設した。(利保町)
10. 1 御厨町及び坂西町合併により8箇分団増設、定員を573名とした。
編成は分団総数19箇分団となり、その組織は団長1・副団長2・分団長19・副分団長19・部長19・副部長19・班長57・団員437名とし、1箇分団の定員は分団長1・副分団長1・部長1・副部長1・班長3・団員23の計30名となった。
御厨分遣所が開設された。
坂西分遣所が開設された。
12. 1 消防本部の定員を91名とした。
38. 2. 6 消防ポンプ自動車2台を購入した。(御厨・坂西分遣所)
3. 20 第6分団詰所を新築した。(五十部町)
7. 31 第18分団詰所を新築した。(松田町)
11. 30 小曾根町水防倉庫を新築した。
39. 3. 17 第12分団詰所を新築した。(福居町)
4. 27 指令車を更新した。
5. 13 火災報知機60基を増設した。
火災報知機受信機2基を増設した。(御厨・坂西分遣所)
8. 1 第3代消防長に神村實一氏が就任した。
10. 31 第3分団詰所を増改築した。(鵜木町)
11. 25 坂西分遣所通信事務室を増設した。
40. 1. 25 中短波を超短波無線機に切替えた。(152.77MHZ)

- 昭和 40. 4. 1 消防本部の定員を100名とした。
5. 28 可搬式動力ポンプ1台を更新した。
6. 21 火災報知機19基を増設した。
10. 6 第15分団詰所を増改築した。(福富町)
12. 27 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。
41. 7. 15 火災報知機30基を増設した。
7. 18 救急車1台を更新した。
8. 12 消防ポンプ自動車1台を更新した。(山辺分遣所)
8. 31 奥戸町水防倉庫を新築した。
10. 11 広報車を新規に配置した。(ライオンズクラブから寄付受入)
42. 1. 25 第8代消防団長に小松原健吉氏が就任した。
2. 25 第2分団詰所を新築した。(助戸3丁目)
9. 20 消防ポンプ自動車2台を増車した。(署、第5分団)
10. 26 山辺分遣所庁舎を新築した。(165㎡)
11. 13 化学消防ポンプ自動車1台を増車した。(山辺分遣所)
43. 4. 1 消防本部の定員を105名とした。
4. 18 作業車1台を更新した。
8. 16 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第9分団)
44. 3. 7 消防本部庁舎を新築した。(1,613.75㎡)
6. 26 救急車1台を増車し署に配置した。
8. 5 消防ポンプ自動車3台を更新した。(第2・3・7分団)
9. 7 第7分団詰所を新築した。(山下町)
45. 4. 1 消防本部の定員を110名とした。
4. 20 指令車を更新した。
7. 14 本部車を新規に配置した。(キンカ堂から寄付受入)
9. 8 第19分団詰所を新築した。(松田町)
11. 12 消防ポンプ自動車3台を更新した。(御厨分遣所、第1・15分団)
12. 17 はしご付消防ポンプ自動車を購入した。
46. 4. 1 消防本部の定員を114名とした。
5. 6 第4代消防長に阿部正夫氏が就任した。
7. 17 超短波無線傍受機を分団車20台に装備した。
9. 8 消防ポンプ自動車3台を更新した。
(第8・19(松田)・19(小俣)分団)
47. 3. 31 第9分団詰所を新築した。(名草中町)
4. 1 南分署が開設された。
南分署に救急車1台を配置した。
消防本部の定員を118名とした。
28 救急車1台を増車し署に配置した。
7. 19 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。
消防ポンプ自動車2台を更新した。(第13・17分団)
10. 23 救命ボート1台を新規に配置した。(森下孝氏から寄付受入)
12. 26 第17分団詰所を新築した。(小俣財産区から寄付受入)
48. 5. 24 社団法人日本河川協会会長から水防功労団体として表彰状を受賞した。
6. 15 アルミックス防火衣118着購入し全職員に貸与した。
7. 5 救急車1台を増車し署に配置した。(栃木県農業共済から寄付受入)
8. 24 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第11・16分団)
11. 20 消防ポンプ自動車1台を更新した。(富田分遣所)

- 昭和 48. 11. 26 アルミックス防火衣 5 7 3 着購入し全団員に貸与した。
12. 6 超短波無線電話機の周波数を変更した。(150.45MHZ)
12. 7 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
12. 22 第 1 4 分団詰所を新築した。(久保田町)
49. 4. 1 消防本部の定員を 1 2 2 名とした。
5. 4 第 9 代消防団長に長山茂氏が就任した。
7. 25 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 12・18 分団)
9. 25 災害通報装置を分団詰所に設置した。
12. 17 第 1 5 分団詰所を改築した。(福富町)
50. 2. 12 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
3. 30 坂西分遣所(西分署)庁舎を改築した。(葉鹿町)
4. 1 西分署が開設された。
西分署に救急車 1 台を配置した。
4. 4 救急車 1 台を更新した。(森下孝氏から寄付受入)
5. 12 広報車を更新した。
7. 28 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 4・6 分団)
8. 4 作業車を更新した。(足利信用金庫から寄付受入)
ホームライトポンプ 1 台を配置した。(足利信用金庫から寄付受入)
10. 7 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(西分署)
11. 7 気象観測機器一式を南分署に設置した。
(足利信用金庫から寄付受入)
12. 2 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
12. 23 空気充てん機 1 台を購入した。
12. 30 伊勢町水防倉庫を大正町に移築した。
51. 4. 1 第 5 代消防長に新藤 貞氏が就任した。
6. 21 指令車を更新した。(東京海上火災保険㈱から寄付受入)
8. 30 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 10 分団)
9. 3 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。
11. 5 救急車 1 台(更新)を南分署に配置した。
(三甲工業㈱から寄付受入)
11. 29 第 1 6 分団詰所を新築した。(葉鹿町)
12. 20 桐生市・伊勢崎佐波広域市町村圏振興整備組合・太田地区消防組
合・館林地区消防組合・佐野地区広域消防組合と特殊災害消防対策
相互応援協定締結
52. 1. 18 県消防協会長から優良消防団として竿頭綬を授与された。
8. 22 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 14 分団)
10. 6 救助工作車 1 台を購入し署に配置した。
12. 1 火災報知機を 2 カ年計画で廃止することに決定した。
53. 4. 1 消防本部の定員を 1 2 6 名とした。
6. 7 第 1 0 代消防団長に岡田光郎氏が就任した。
7. 19 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(消防署、第 5 分団)
9. 1 本署管内の火災報知機を廃止した。(受信機 3・発信機 2 2 1)
10. 22 査察指導車 2 台を配置した。(板橋通商㈱から寄付受入)
10. 28 第 1 3 分団詰所を新築した。(小曾根町)
54. 4. 1 第 6 代消防長に高橋瓘男氏が就任した。
消防本部の定員を 1 3 0 名とした。
火災報知機を全廃した。
9. 4 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 9 分団)

- 昭和 54. 10. 29 水槽付消防ポンプ自動車1台を南分署に配置した。
(日本損害保険協会から寄付受入)
55. 3. 6 救急車1台を更新した。(日本自動車工業会から寄付受入)
4. 1 消防本部の定員を134名とした。
55. 6. 16 佐野市・佐野地区広域消防組合・太田地区消防組合・館林地区広域
消防組合と消防相互応援協定締結
10. 4 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第3分団)
10. 7 消防訓練塔を新築した。
11. 21 防火広報車1台を配置した。(日本防火協会から寄付受入)
11. 22 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。(消防署)
56. 4. 1 消防本部の定員を138名とした。
4. 18 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利市民プラザ)
5. 20 特殊災害消防相互応援協定を県下14消防本部と締結した。
宇都宮市・栃木地区広域行政事務組合・佐野地区広域消防組合・鹿
沼地区広域行政事務組合・日光地区広域消防組合・今市市・小山市・
芳賀地区広域行政事務組合・大田原地区広域消防組合・塩谷広域行
政組合・黒磯那須消防組合・石橋地区消防組合・藤原町・南那須地
区広域行政事務組合
10. 12 水槽付消防ポンプ自動車1台を山辺分遣所に配置した。
57. 2. 10 日本消防協会から優良消防団として竿頭綬を授与された。
6. 30 本部車を更新した。
10. 8 化学消防ポンプ自動車1台(更新)を山辺分遣所に配置した。
(アキレス(株)から寄付受入)
- 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第7分団)
11. 29 広報車1台を更新した。(足利市防火協会から寄付受入)
58. 2. 28 第11分団詰所を新築した。(里矢場町)
3. 7 救急車1台を更新した。(日本損害保険協会から寄付受入)
6. 1 栃木県知事から優良消防団として表彰旗を授与された。
10. 26 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第2分団)
59. 1. 11 第19分団(小俣)詰所を新築した。(小俣町)
4. 1 第7代消防長に根岸久夫氏が就任した。
4. 21 館林地区消防組合と水防相互応援協定締結
8. 17 バasket付はしご消防ポンプ自動車(15m級)を配置した。
(消防署)
- 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第1・15分団)
8. 30 査察指導車2台を更新した。(板橋通商(株)から寄付受入)
60. 8. 26 消防ポンプ自動車2台を更新した。(第8・19(松田)分団)
61. 3. 28 第5分団詰所を新築した。(田中町)
6. 19 作業車1台を更新した。(消防署)
10. 30 消防ポンプ自動車3台を更新した。(消防署、第13・19(小俣)分団)
- 救急車1台を更新した。(南分署)
62. 4. 1 第8代消防長に関口好三氏が就任した。
5. 27 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(コムファースト)
6. 4 指令車を更新した。(消防署)
63. 3. 25 化学消防ポンプ自動車1台及び消防ポンプ自動車2台を更新した。
(消防署、第11・17分団)
3. 30 災害通報装置(アンサーバック方式)を更新した。
空気充てん機(Y S-75型)を更新した。

- 昭和 63. 4. 1 警防課通信指令室を本部通信指令課とした。
7. 15 アルミックス防火衣等 137 着を購入し、全職員に貸与した。
アルミックス防火衣等 193 着を購入し、団本部 3 着及び各分団
10 着貸与した。
7. 28 携帯無線傍受機 41 台を購入し、正副団長及び各分団長・副分団長
へ貸与した。
8. 18 第 17 分団に非常用サイレンを設置した。
消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 12・16 分団)
8. 31 超短波無線傍受機 20 台(分団車用)を更新した。
9. 1 テレホンサービス(41-0000)を開局した。
9. 3 広報連絡車 1 台を購入し署に配置した。
9. 15 消防署車庫排煙設備を設置した。
10. 31 第 10 分団詰所を新築した。(駒場町)
- 平成元 . 2. 14 足利市消防団が特別表彰「まとい」を受賞した。
8. 10 広報連絡車 1 台を購入し南分署に配置した。
8. 31 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 4・18 分団)
9. 1 消防緊急情報システムが整備され業務を開始した。(通信指令課)
9. 16 携帯無線傍受機 19 台を購入し、各分団の部長へ貸与した。
9. 18 アルミックス防火衣等 190 着を購入し、各分団 10 着貸与した。
10. 24 化学消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(消防署)
12. 14 第 10 分団乾燥塔を新築した。
12. 18 救急車 1 台を更新した。(消防署)
12. 21 査察指導車 2 台を更新した。(榎板橋から寄付受入)
2. 3. 25 第 12 分団詰所を新築した。(島田町)
3. 28 防火広報車を更新した。(箕輪雅雄氏から寄付受入)
4. 1 第 9 代消防長に山崎 清氏が就任した。
第 11 代消防団長に半田勘次朗氏が就任した。
消防本部の定員を 142 名とした。
7. 17 広報連絡車 2 台を購入した。(西分署・山辺分遣所)
9. 28 携帯無線傍受機 19 台を購入し、各分団の副部長へ貸与した。
9. 29 アルミックス防火衣等 190 着を購入し、各分団 10 着貸与した。
9. 30 無線機(車載 2 台・携帯 3 台)を整備した。
11. 5 災害通報用サイレン 2ヶ所を更新した。(第 14・15 分団)
11. 9 山林火災用可搬式送水装置一式を購入した。(消防署)
11. 14 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 6・10 分団)
12. 20 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(消防署)
3. 2. 19 救急車 1 台を更新した。(日本損害保険協会から寄付受入)
2. 28 消防車両動態表示装置を整備した。
3. 15 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(富田分遣所)
3. 25 第 1 分団詰所を新築した。(緑町 1 丁目)
3. 28 救急車 1 台を更新した。(ハッピー金属工業㈱から寄付受入)
4. 1 消防本部の定員を 146 名とした。
6. 27 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 5・14 分団)
8. 29 無線機(車載 3 台・携帯 3 台)を整備した。
8. 30 携帯無線傍受機 67 台を購入し、署幹部へ 10 台、各分団の班長へ
57 台貸与した。
9. 7 消防ポンプ自動車 1 台を更新した。(第 9 分団)
9. 11 災害通報用サイレン 2ヶ所を更新した。(第 4・11 分団)

- 平成 3. 10. 10 救助工作車Ⅱ型（資機材を含む）1台を更新した。（消防署）
 10. 31 指令電送装置を整備した。
 11. 30 桐生市と消防相互応援協定締結
 12. 24 はしご付消防自動車（30m級）1台を更新した。（消防署）
- 平成 4. 3. 6 第8分団詰所を新築した。（利保町）
 4. 1 消防本部・署の組織改革に伴い、本部総務課に防災係を新設、消防署に係制度を導入した。
 河川情報システムが市河川課より移管された。（防災係）
 7. 20 潜水器具2組を整備した。（消防署）
 8. 10 査察車1台を更新した。（予防課）
 8. 21 救命用ゴムボート2艇を配置した。（アキレス㈱から寄付受入）
 9. 30 消防無線機に全国波を整備した。
 10. 30 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。（消防署）
 11. 10 防火広報車1台を更新した。（足利市防火協会から寄付受入）
 12. 15 指揮車1台を更新した。（予防課）
5. 4. 1 第10代消防長に須齋良一氏が就任した。
 消防本部の職員定数を157名とした。
 8. 19 デジタル警報地震計1台を設置した。（通信指令課）
 9. 20 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。（足利工業大学）
 9. 30 災害通報用サイレン2ヶ所を更新した。（第2・13分団）
 12. 13 消防ポンプ自動車1台を更新した。（第3分団）
 12. 24 第14分団詰所を新築した。（久保田町）
6. 4. 1 消防本部の職員定数を162名とした。
 消防団の組織を団長1・副団長3・分団長19・副分団長19・部長19・副部長19・班長57・団員437名の574名とした。
 11. 4 消防ポンプ自動車2台を更新した。（第2・7分団）
 11. 28 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。（山辺分遣所）
 12. 6 高規格救急自動車1台を購入した。（消防署）
 12. 27 ファクシミリ電話機を各分団詰所に設置した。
 第18分団詰所を新築した。（松田町）
7. 1. 30 消防ポンプ自動車1台を更新した。（第1分団）
 10. 5 市内6ヶ所に防災倉庫を設置し、防災資機材を整備した。
 10. 6 防災用携帯電話19台を市幹部職員に配備した。
 11. 24 消防ポンプ自動車3台を更新した。（第8・15・19（松田）分団）
 12. 27 第19分団（松田）詰所を新築した。（松田町）
8. 3. 18 耐震性貯水槽（100m³）をJR足利駅前に設置した。
 10. 29 災害救援車（トイレカー）を購入した。
 12. 4 消防ポンプ自動車4台を更新した。（第11・13・17・19（小俣）分団）
 12. 24 富田分遣所を改築した。（駒場町）
 12. 26 第6分団詰所を新築した。（五十部町）
 水槽付消防ポンプ自動車1台を更新した。（富田分遣所）
9. 2. 28 地域防災計画改訂事業の一環として、防災アセスメント調査及び地域別防災カルテを作成した。
 8. 19 エアーテント2基を配備した。（アキレス㈱から寄付受入）
 9. 7 足利市総合防災訓練を実施した。
 10. 14 携帯無線傍受機89台を更新し、署幹部へ10台、各分団幹部へ79台貸与した。
 11. 25 消防ポンプ自動車4台を更新した。（第4・12・16・18分団）

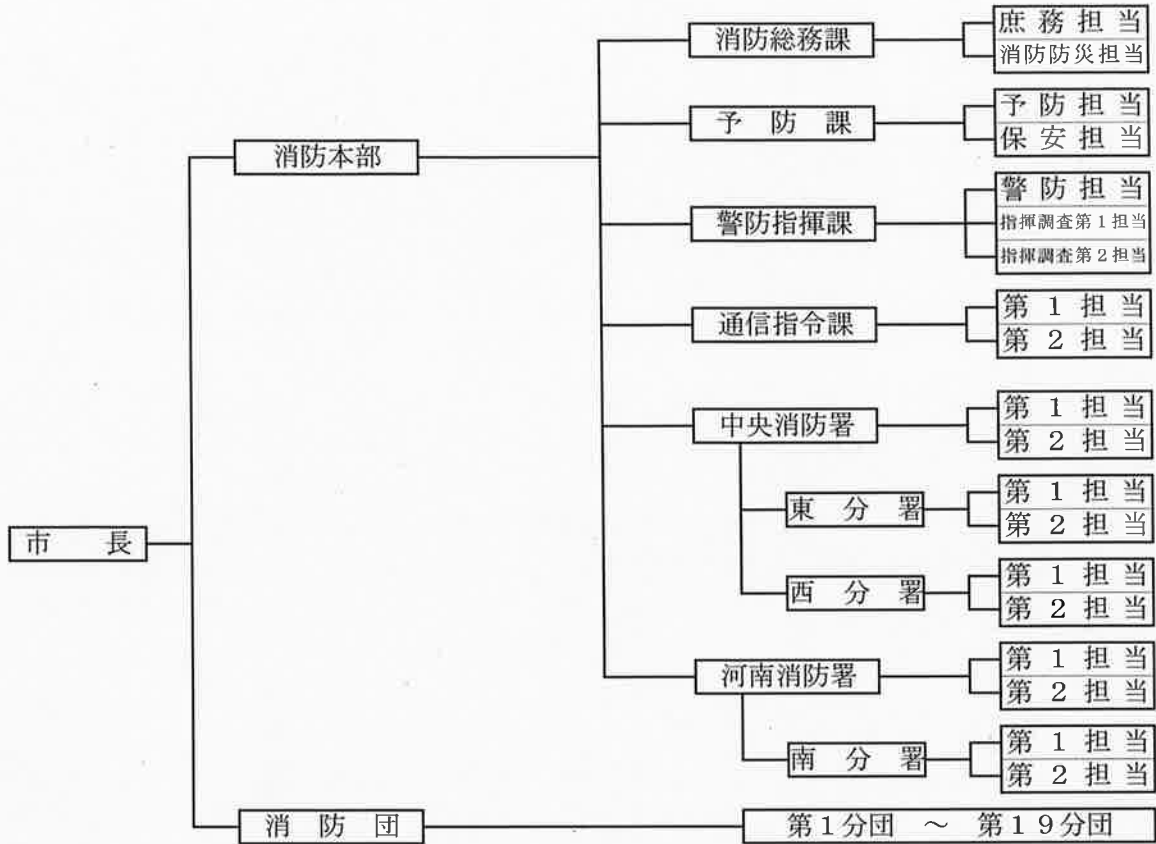
- 平成 9.12.19 第15分団詰所を新築した。(福富町)
10. 3.27 地域防災計画の全面改訂を実施するとともに、防災ガイドマップを作成した。
4. 1 第11代消防長に寺田豊治氏が就任した。
- 10.24 携帯119番通報受付転送装置を設置した。
- 10.11.30 消防団旗を更新した。
- 12.15 第2分団詰所を新築した。(助戸3丁目)
11. 3.10 消防職員用防火衣一式を更新した。
- 3.30 河南消防署建設に伴う実施設計が完了した。
4. 1 第12代消防長に小島輝松氏が就任した。
- 8.10 軽可搬ポンプ1台が交付された。
(足利市婦人消防隊全国大会出場につき日本消防協会より交付)
- 8.29 栃木県・足利市総合防災訓練・両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(伊勢町渡良瀬運動場)
- 9.30 消防団員用防火衣一式574着を更新した。
- 12.14 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。(西分署)
12. 2.15 県防災行政ネットワークシステムを整備した。(市役所)
- 3.14 第3分団詰所を新築した。(八柵町)
4. 1 第13代消防長に倉沼静雄氏が就任した。
消防本部の職員定数を170名とした。
- 7.28 作業車1台を更新した。(消防署)
- 8.30 消防無線市波にトーンスケルチ装置を付加した。
- 10.31 河南消防署庁舎を新築した。(1,979.0㎡)
12. 8 指令車1台を更新した。(消防署)
- 12.25 消防無線機に全国波第2・第3波を整備した。
- 12.27 高規格救急自動車1台を購入し、河南消防署に配置した。
13. 2.28 第17分団詰所を新築した。(小俣町)
4. 1 第14代消防長に都筑三十四氏が就任した。
河南消防署が開設された。
10. 5 広報連絡車1台を更新した。(富田分遣所)
12. 7 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。(中央消防署)
14. 3. 5 第4分団詰所を新築した。(八幡町3丁目)
- 3.12 高規格救急自動車1台を更新した。(西分署)
- 3.26 河南消防署訓練塔が完成した。
- 12.31 無線サイレン吹鳴装置一式を更新した。(通信指令課、消防団詰所)
15. 1.20 消防ポンプ自動車1台を更新した。(中央消防署)
2. 7 日本消防協会から優良消防団として表彰旗が授与された。
- 3.26 広報連絡車1台を更新した。(中央消防署)
- 7.23 高規格救急車1台を更新した。(南分署)
16. 4. 1 第15代消防長に山本竹男氏が就任した。
第12代消防団長に橋本日出夫氏が就任した。
- 10.25 新潟県中越地震に伴う緊急消防援助隊派遣 (マグニチュード6.8)
新潟県 10.25 ~ 10.28 救助部隊 10名
17. 1.27 高規格救急自動車1台を購入した。(東分署)
- 2.28 東分署を新築した。(644.90㎡)
- 3.31 高規格救急自動車1台を更新した。(中央消防署)
4. 1 消防本部の職員定数を180名とした。
東分署が開設された。

- 平成 17. 9. 27 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利市民プラザ)
12. 20 査察車 1 台を更新した。(予防課)
18. 4. 1 第 16 代消防長に石川郁三氏が就任した。
高機能通信指令システム (II 型) の運用を開始した。
消防・防災情報メール配信を開始した。
19. 3. 9 屈折はしご付消防自動車 (25m 級) 1 台を購入した。(中央消防署)
19. 3. 15 第 7 分団詰所を新築した。(山下町)
3. 30 地域防災計画改訂の一環として、防災アセスメント調査を実施した。
4. 1 第 17 代消防長に村田雅雄氏が就任した。
4. 27 第 13 代消防団長に倉沼静雄氏が就任した。
10. 2 広報連絡車 1 台を更新した。(南分署)
11. 1 救急情報テレホンサービス (病院案内) を開始した。(0284-72-0099)
12. 19 水槽付消防ポンプ自動車を更新した。(南分署)
20. 3. 28 地域防災計画の改訂及び防災マップの作成を実施した。
12. 26 救助工作車 II 型 (資機材を含む) 1 台を更新した。(河南消防署)
21. 4. 1 第 18 代消防長に山崎康次氏が就任した。
8. 24 訓練指導車が交付された。(日本宝くじ協会より交付)
9. 2 消防ポンプ自動車 3 台を更新した。(第 6・10・14 分団)
9. 9 携帯電話等 119 通報位置通知装置を設置した。
9. 17 指揮車 1 台を更新した。(予防課)
10. 16 広報車 2 台を更新した。(西分署・河南消防署)
22. 2. 16 防災広報車が交付された。(日本消防協会より交付)
3. 19 消防職員用防火衣 (上下式) 一式の導入を開始した。
9. 29 広報車 1 台を更新した。(予防課)
23. 3. 11 東北地方太平洋沖地震に伴う緊急消防援助隊派遣
(マグニチュード 9.0/足利市震度 5 強)
岩手県 3. 11 ~ 3. 25 消火部隊 8 隊 38 名
福島県 3. 26 ~ 6. 6 救急部隊 10 隊 30 名
4. 1 第 19 代消防長に森田政雄氏が就任した。
消防本部の組織改革に伴い、本部総務課に警防担当を新設、
警防課を廃止した。
24. 2. 14 指揮車 1 台を更新した。(河南消防署)
2. 17 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 5・9 分団)
3. 2 高規格救急自動車 1 台を更新した。(河南消防署)
3. 14 軽可搬ポンプ 1 台が交付された。
(足利市女性消防隊が全国女性消防操法大会 (H25. 10. 17) 出場に
つき日本消防協会より交付)
3. 26 第 9 分団詰所を新築した。(名草中町)
10. 3 両毛地区消防本部特殊災害訓練を実施した。(足利赤十字病院)
11. 19 消防ポンプ自動車 2 台を更新した。(第 2・3 分団)
25. 2. 22 資機材運搬車が総務省消防庁の無償使用制度により配備された。
3. 6 消防ポンプ付水槽車 (10 t) 1 台を購入した。(中央消防署)
4. 1 組織改正に伴い、総務課防災担当を総務課消防防災担当に名称変更し
た。
9. 1 栃木県足利市総合防災訓練を実施した。(伊勢町渡良瀬運動場)
26. 3. 20 中央消防署西分署が移転完成した。(729.45 m²)
4. 1 第 20 代消防長に室岡茂夫氏が就任した。
第 14 代消防団長に田米開久男氏が就任した。

- 26. 4. 1 組織改正に伴い、総務課を消防総務課に名称変更した。
新西分署の運用が開始された。
- 12. 4 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第7分団)
- 27. 2. 9 化学消防ポンプ自動車1台を更新した。(河南消防署)
- 3. 6 消防本部・団が消防庁長官から竿頭綬を授与された。
- 4. 1 高機能消防指令センターを改修した。
- 12. 7 消防ポンプ自動車1台を更新した。(第1分団)
- 28. 2. 24 高規格救急自動車1台を更新した。(西分署)
- 3. 7 消防救急デジタル無線(活動波・無線サイレン吹鳴装置)一式を更新した。
西分署敷地内に足利消防西局を新設した。
- 4. 1 共通波(主運用波1・統制波1・統制波2・統制波3)の運用を開始した。
消防本部の組織改正に伴い、警防指揮課を新設、本部消防総務課警防担当を廃止した。
- 5. 20 第15代消防団長に山本誠氏が就任した。
- 9. 12 高規格救急自動車1台を更新した。(南分署)
- 11. 18 消防団員用救助用半長靴の導入を開始した。
- 11. 25 防災活動車が交付され、本部車を更新した。(日本消防協会より交付)
- 29. 3. 17 第16分団詰所を新築した。(葉鹿町)
- 4. 1 第21代消防長に町田旭氏が就任した。

総務編

消 防 組 織



消 防 職 員 配 置 状 況

(29.4.1現在) (人)

		消防監	司令長	司令	司令補	士長	消防士	他	計	
定員									180	
実員		1	5	31	63	54	22	2	178	
消防本部	消防長	1							1	
	次長		1						1	
	消防総務課	庶務担当			1	2	1			9
		消防防災担当					2		1	
	予防課	予防担当		(1)		1	3	2		9
		保安担当				1	2			
	警防指揮課	警防担当					2	1		12
指揮調査第1担当			1		1	3				
指揮調査第2担当					1	3				
通信指令課	第1担当		1		2	2	1		11	
	第2担当				2	2	1			
消防署	中央消防署	署長		1					37	
		第1担当			3	6	6	3		
		第2担当			3	6	6	3		
	東分署	第1担当		1	1	3	3	3	21	
		第2担当				4	4	2		
	西分署	第1担当		1	1	3	4	2	21	
		第2担当			1	3	3	3		
	河南消防署	署長		1					33	
		第1担当			2	6	6	2		
		第2担当			2	7	6	1		
南分署		第1担当		1	1	3	5	1		21
	第2担当			1	3	4	2			
派遣	日本消防協会				1				2	
	栃木県消防防災課					1				

※予防課長の職は次長兼務

消 防 職 員 年 齡 表

(29.4.1現在) (人)

階級別 年 齡	総 数	消 防 職 員						事務職員
		消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	消防士	
総数	178	1	5	31	63	54	22	2
18歳								
19 "	2						2	
20 "	3						3	
21 "	3						3	
22 "	2						2	
23 "	4						4	
24 "	6						6	
25 "	3					2	1	
26 "	9					8	1	
27 "	5					5		
28 "	5					5		
29 "	3					3		
30 "	5					4		1
31 "	8					8		
32 "	7					7		
33 "	6					6		
34 "	4					4		
35 "	4				4			
36 "	8				7	1		
37 "	9				8	1		
38 "	2				2			
39 "	7				7			
40 "	6				6			
41 "	3				3			
42 "	7				7			
43 "	4				4			
44 "	7				7			
45 "	5			1	4			
46 "	5			4	1			
47 "	3			3				
48 "	3			2	1			
49 "	2			2				
50 "	4			4				
51 "	3			2	1			
52 "	4			3	1			
53 "	3			3				
54 "	3			3				
55 "	6		2	3				1
56 "	3		3					
57 "	2	1		1				
58 "								
59 "								
平均年齢 (歳)	37.3	57.0	55.6	50.5	40.5	30.0	22.4	42.5

消 防 職 員 在 職 年 数 表

(29. 4. 1現在) (人)

階級別 在職年数	総数	消 防 職 員						事務職員
		消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	消防士	
総数	178	1	5	31	63	54	22	2
0～4年	25					3	20	2
5～9年	26					24	2	
10～14年	35				11	24		
15～19年	31				28	3		
20～24年	21			6	15			
25～29年	19			10	9			
30～34年	6			6				
35年以上	15	1	5	9				
平均在職年数(年)	16.47	39.00	37.60	29.74	19.03	9.89	2.05	2

市総予算と消防予算 (一般会計)

(単位：千円)

区 分 年 度	市 総 予 算		消 防 予 算		構成比 (%)	
	当初予算	決算額	当初予算	決算額	当初	決算
平成20年度	49,070,000	48,047,260	1,574,410	1,524,880	3.21	3.17
平成21年度	47,540,000	49,595,820	1,470,619	1,468,078	3.09	2.96
平成22年度	48,570,000	49,127,551	1,397,707	1,378,265	2.88	2.81
平成23年度	49,850,000	48,455,544	1,615,596	1,555,263	3.24	3.21
平成24年度	49,810,000	47,724,166	1,544,745	1,532,964	3.10	3.21
平成25年度	50,500,000	48,725,896	1,732,672	1,685,747	3.43	3.46
平成26年度	51,700,000	51,811,181	1,627,920	1,649,645	3.15	3.18
平成27年度	51,800,000	51,781,872	1,899,844	1,874,874	3.67	3.62
平成28年度	52,700,000	51,450,738	1,635,656	1,591,004	3.10	3.09
平成29年度	52,600,000		1,618,592		3.08	

消防庁舎の現況

消防署

(29.4.1現在)

区分 名称	所在地	構造	棟数	建築面積(㎡) (延べ面積)	敷地面積(㎡)	建築年月日
消防本部 中央消防署	大正町863	鉄骨鉄筋コンクリート造3階建	1	684.90 (1,613.75)	4,453.55	S44. 3.10
		鉄骨造平家建	1	208.00		
		鉄筋コンクリート造平家建	1	227.96		S40. 9.10
		鉄骨造平家建	1	162.33		
東分署	川崎町1324	鉄骨造平家建	1	644.90	2,385.78	H17. 2.28
西分署	葉鹿町2-3-2	鉄骨造平家建	1	729.45 (716.70)	3,492.24	H26. 3. 4
河南消防署 訓練塔	堀込町190-1	鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建・免震構造	1	976.00 (1,979.00)	2,060.26	H12.10.31
	堀込町182-2	主塔-鉄骨造6階建	1	398.40	1,680.28	H14. 3.26
		補助塔-鉄骨造1階建	1	25.00		
南分署	上渋垂町1223	鉄骨モルタル造カラー鉄板 棒葺平家建	1	235.44	2,514.00	S47. 3.17

水防倉庫

(29.4.1現在)

区分 名称	所在地	構造	棟数	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年月日
寺岡水防倉庫 57号	寺岡町旗川堤防	木造セメント瓦葺平家建	1	33.00	33.00	S29.10.19
大正町水防倉庫 59号	大正町863	木造鉄板葺平家建	1	33.00	33.00	S50.12.30
福富水防倉庫	福富町渡良瀬川堤防	鉄骨造平家建	1	33.12	33.12	S60. 3.12
奥戸水防倉庫 84号	奥戸町旗川堤防	鉄骨造波型鉄板葺平家建	1	40.00	40.00	S41. 8.31
渋垂水防倉庫	上渋垂町1223	鉄骨波型スレート葺平家建	1	29.00	29.00	S54. 5.
西分署水防倉庫	葉鹿町647-1	鉄骨ルーフデッキ葺平家建	1	36.44	36.44	S58.11. 1

防災倉庫 (危機管理課所管)

(29.4.1現在)

区分 設置場所	所在地	構造	棟数	備蓄品	設置年月日	
総合運動場	西砂原後町1193	アルミニウム合金製 (W6m×D2.4m×H2.35m) ソーラー換気扇付 ※協和中学校・筑波小学校 は自然換気扇のみ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファ米 ・ミネラルウォーター ・ドライミルク ・発電機 ・投光器 ・コードリール ・燃料タンク ・トランシーバー ・チェンソー ・ハンドマイク ・担架 ・救命ロープ ・一輪車 ・救急医療セット ・防水シート ・毛布 ・リヤカー ・テント ・ウォーターバルーン ・ポリバケツ ・非常炊き出しレンジ ・簡易トイレ 	H7.12.25	
けやき小学校	柳原町861		1			
葉鹿小学校	葉鹿町1丁目14-2		1			
山辺小学校	八幡町386		1			
毛野中学校	八柵町27		1			
北郷小学校	田島町1		1			
協和中学校	百頭町160		1			H26.3.13
筑波小学校	小曾根町517		1			H26.10.23
五十部水防センター	五十部町284-1番地先	鉄骨造2階建	1	・アルファ米、ミネラルウォーター、他	H24.12.27	

平成28年度主要事業

1 消防施設等整備事業

(1) 消防団整備事業

(円)

区分	工事又は整備事業名	施工位置又は配置場所	請負業者	事業費	財源内訳	事業内容	完成年月日
市単独事業	消防団活性化総合整備事業	消防団	ミドリ安全栃南(株)	需用費 1,994,803	計 1,994,803 諸 1,000,000 一般 994,803	救助用半長靴 192足	28.11.18
	第8分団詰所ホース乾燥塔塗装工事	第8分団詰所	(有)マサモト塗装工業	工事費 885,600	一般 885,600	ホース乾燥塔 1基の塗装工事	28.12.19
	第15分団警報用モーターサイレン設置工事	南分署	(有)靱山電設	工事費 653,400	一般 653,400	警報用モーターサイレンの 撤去・更新	29.2.16
	第1分団警報用モーターサイレン設置工事	第1分団詰所	(有)靱山電設	工事費 691,200	一般 691,200	警報用モーターサイレンの 撤去・更新	29.2.28
合計			計 4,225,003 需用費 1,994,803 工事費 2,230,200	計 4,225,003 諸 1,000,000 一般 3,225,003			

(2) 消防施設整備事業

(円)

区分	工事又は整備事業名	施工位置又は配置場所	請負業者	事業費	財源内訳	事業内容	完成年月日
市単独事業	第16分団詰所建設工事	葉鹿町	(株)フクダ外2社	計 42,629,696 需用費 17,994 委託料 464,400 工事費 41,882,400 備品購入費 264,902	計 42,629,696 市債 42,300,000 一般 329,696	鉄骨造平家建 95.95㎡ほか	29.3.17

2 救急救命士養成事業

(人・円)

事業名	人数	事業費	研修期間	研修場所	事業内容
救急救命士養成	新規1 指導救命士 養成研修1 気管挿管2	一般 3,729,995	7か月 2か月 30症例	救急救命東京研修所 救急救命九州研修所 足利赤十字病院	傷病者の救命率向上のため、専門的な知識技術を有し、高度な救命処置を行うことができる救急救命士を養成するものです。

通 信 指 令 編

通信指令施設等の現況

高機能消防指令センター（Ⅱ型）構成機器 （29.4.1現在）

指令装置（指揮台含む）	3 式	電源設備	1 式
表示盤	4 面	統合型位置情報通知装置	1 式
無線統制台	1 台	消防無線通信設備	6 台
指令電送装置	1 式	画像伝送装置	1 式
気象情報収集装置	1 式	消防OAシステム	1 式
災害状況等自動案内装置	1 式	放送設備	1 式
順次指令装置	1 式	駆け付け電話機	5 台
音声合成装置	1 式	Eメール119装置	1 台
出動車両運用管理装置	1 式	FAX119受信装置	1 台
システム監視装置	1 式		

消防救急デジタル無線装置 （29.4.1現在）

基地局		固定局	移動局	受令機
足利消防	活動波1	足利消防	車載型	受令機
	活動波3			
	主運用波1	1局	5W15台	7台
	統制波1	足利消防西	携帯型	車載型受令機
	統制波2			
	統制波3	分団詰所等	25局	20台
足利消防西	活動波2		可搬型	
	活動波3			

デジタル無線サイレン吹鳴装置 （29.4.1現在）

固定局（親局）	通信指令課	1
受信設備（子局）	分団詰所等	25

災害受信ファクシミリ等 （29.4.1現在）

消防専用	消防本部・署・分署	7	ひとり暮らし高齢者等 緊急通報受信機	通信指令課（足利市）	1
	分団詰所	20			

地震感知装置 （29.4.1現在）

地震計	栃木県	震度情報ネットワークシステム一式	足利市大正町863 消防本部庁舎1階警備室
-----	-----	------------------	--------------------------

災害・予警報受理状況

災害覚知（第一報）

28. 1. 1～28. 12. 31（回）

種別 覚知別	合計	火災	救急	救助	その他
119（固定電話からNTT加入電話）	2,257	9	2,188	25	35
119（固定電話からNTT加入電話以外）	1,244	5	1,225	7	7
119（携帯電話から）	1,774	17	1,681	38	38
119 FAX Eメール119					
加入電話（固定電話から）	282	3	200	5	74
加入電話（携帯電話から）	18		12	3	3
警察電話	409	2	341	24	42
駆け付け通報	29		27		2
事後聞知	6	5			1
自己覚知	8		5		3
消防・救急無線	67		29	3	35
ひとり暮らし緊急通報システム	84		84		
病院直通電話	109		107		2
その他	7	1	3	2	1
合計	6,294	42	5,902	107	243

E メール消防防災情報加入状況

（件）

事業名	平成28年度中の 加入件数	平成28年度末 現在の加入件数	事業内容
Eメール 消防防災 情報配信	170	11,963	市内で発生した災害や気象などに関する警報が発表された場合、その情報等を登録した方の携帯電話やパソコンに電子メールで配信してお知らせするものです。

E メール消防防災情報の配信状況

28. 1. 1～28. 12. 31（件）

区分	火災情報	火災以外 の情報	気象情報	震度情報	避難情報	消防情報	合計
平成28年中 の配信数	88	846	36	13	0	9	992

災害情報テレホンサービスの利用状況

28. 1. 1～28. 12. 31（件）

平成28年中の 利用数	86,800	月平均	7,233	日平均	237
----------------	--------	-----	-------	-----	-----

気象通報受理状況

28. 1. 1 ~ 28. 12. 31 (回)

区分		月別	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
警報	暴風															
	暴風雪															
	大雨	4									3	1				
	大雪															
	洪水	4									3	1				
注意報	風雪	1	1													
	強風	16	2		1	3	1				4	1	1	1	2	
	大雨	26							2	6	13	5				
	大雪	2	2													
	雷	55		2	1	1	5	5	15	15	10	1				
	乾燥	32	5	7	4	4	3	1					3	1	4	
	濃霧	43	1	2	2	5	6	2	6	3	4	5	4	4	3	
	着氷(雪)															
	洪水	25							2	7	12	4				
	低温	7	3	4												
	その他	14	2		1	10	1									
情報	栃木県気象	113	8	3	3	1	3	12	8	54	13	3	5			
	異常気象	51	5	4	8	6	2	3	2	7	7	5			2	
	台風	837								47	340	332	102	16		
	竜巻	8								4	2	2				
	土砂災害	2									1	1				
	記録的豪雨															
通報	火災気象	128	24	22	17	12	15	4			2		6	8	18	
	その他															
計		1,368	53	44	37	42	36	31	95	459	381	126	35	29		

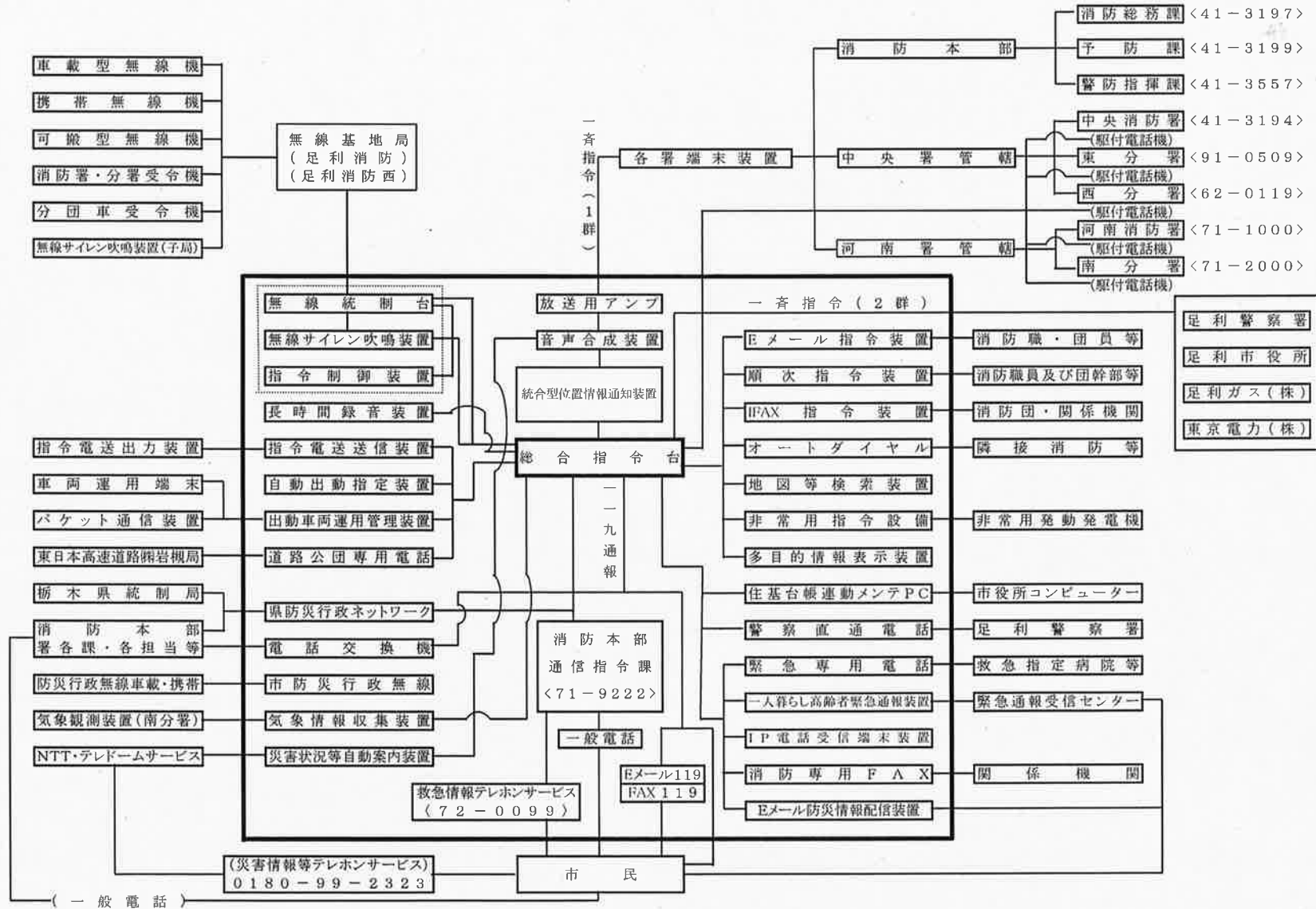
水防警報等受理状況

28. 1. 1 ~ 28. 12. 31 (回)

区分		月別												
		年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
利根川水系 洪水予報 (国土交通省 ・気象庁)	洪水警報													
	洪水注意報													
	洪水情報													
	解除													
水防警報 (国土交通省) 基本系	待機													
	準備													
	出動													
	指示													
	解除													
	情報													
水防警報 (栃木県) 補助系	待機													
	準備													
	出動													
	指示													
	解除													
	情報													
草木ダム 放流通知		6		1						2	1	2		
高津戸ダム放流通知		6		1						3	1			1
松田川ダム放流通知		1								1				
計		13		2						6	2	2		1

消防通信指令施設系統図

(29.4.1現在)



予 防 編

指定防火対象物数

(29.4.1現在)

用 途		指定防火対象物数 (棟数)	防火管理者選任義務 対象物数
1	イ	劇場、映画館、観覧場等	3
	ロ	公会堂、集会場	70
2	イ	キャバレー、カフェー等	5
	ロ	遊技場、ダンスホール	16
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	2
	ニ	カラオケボックス等	3
3	イ	待合、料理店等	9
	ロ	飲食店	122
4		百貨店、物品販売店舗等	212
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	36
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	566
6	イ	(1) 特定病院	5
		(2) 特定診療所	2
		(3) 非特定医療機関 (有床系)	25
		(4) 非特定医療機関 (無床系)	54
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	78
		(2) 救護施設	
		(3) 乳児院	
		(4) 障害児入所施設	
		(5) 障害者支援施設等	17
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	29
		(2) 更生施設	
		(3) 助産施設、保育所等	42
		(4) 児童発達支援センター等	2
		(5) 身体障害者福祉センター等	47
	ニ	幼稚園、特別支援学校	18
7		学校、各種学校等	210
8		図書館、美術館等	15
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	1
	ロ	一般公衆浴場等	4
10		停車場等	3
11		神社、寺院、教会等	40
12	イ	工場、作業場等	781
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	
13		自動車車庫、駐車場	24
14		倉庫	348
15		前各項に該当しない事業場	359
16	イ	複合用途 (特定)	246
	ロ	複合用途 (その他)	64
16の2		地下街	
17		重要文化財等	40
合 計			3,498
			1,384

建築物同意事務処理状況

(28. 4. 1~29. 3. 31)

区分 月別	受付件数	工 事 種 別			処 理 件 数		
		新築	増改築	その他	同意	条件付同意	不同意
4月	11	11	0	0	2	9	
5月	21	21	0	0	7	14	
6月	18	16	1	1	9	9	
7月	14	13	1	0	2	13	
8月	16	16	0	0	8	8	
9月	24	24	0	0	2	22	
10月	15	14	1	0	7	8	
11月	26	24	2	0	5	19	
12月	15	15	0	0	3	13	
1月	13	13	0	0	6	7	
2月	13	12	1	0	5	8	
3月	20	18	1	1	7	13	
計	206	197	7	2	63	143	
平成27年度	198	171	6	21	68	130	

消防用設備等検査数

(28. 4. 1~29. 3. 31)

種 別		実施数	計
消 火 設 備	消 火 器	71	100
	屋 内 消 火 栓 設 備	5	
	屋 外 消 火 栓 設 備	8	
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	16	
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	76	98
	非 常 警 報 設 備	21	
	漏 電 火 災 警 報 器	1	
避 難 設 備	避 難 器 具	18	66
	誘 導 灯	48	
計			264

中高層(4階以上) 建物の現況

(29.4.1現在)

防火対象物の別 階層	公会堂等	料理店等	店舗	旅館、ホテル	共同住宅	病院	福祉施設	学校等	美術館等	工場	駐車場等	倉庫	事務所等	複合用途	専用住宅	用途なし	計
4階	4		4	2	54	2	2	17	1	9		2	17	38	2	9	163
5階		2	1		76	4	1	3	1	1	1		7	20		2	119
6階				1	12		1	2					2	13			31
7階				1	12		1	1		1				10			26
8階					4			2					1	1		1	9
9階				1	3	1		1			1			4			11
10階				2	5									1			8
11階					7									3			10
12階					2									1			3
13階					2												2
14階					2												2
15階					1												1
計	4	2	5	7	180	7	5	26	2	11	2	2	27	91	2	12	385

*中高層建物の分布状況 河北地区243カ所・河南地区142カ所

危険物施設の現況

(29.4.1現在)

種別	施設数	種別	施設数
製造所	10	給油取扱所(営業用)	39
屋内貯蔵所	85	給油取扱所(自家用)	35
屋外タンク貯蔵所	56	第1種販売取扱所	2
屋内タンク貯蔵所	9	第2種販売取扱所	
地下タンク貯蔵所	88	移送取扱所	
簡易タンク貯蔵所		一般取扱所	90
移動タンク貯蔵所	50		
屋外貯蔵所	30	計	494

貯蔵取扱倍数別危険物施設数

(29.4.1現在)

施設別 倍数別	総 製 造 数 所	貯 蔵 所									取 扱 所					
		小 計	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売	移 送	一 般	
5倍以下	185	1	140	39	10	6	38		43	4	44	9	1			34
5倍を超え10倍以下	134	6	88	20	22	3	23		1	19	40	9				31
10倍を超え50倍以下	119	2	77	23	23		21		3	7	40	15	1			24
50倍を超え100倍以下	15		7		1		3		3		8	7				1
100倍を超え150倍以下	11		4	1			3				7	7				
150倍を超え200倍以下	10		2	2							8	8				
200倍を超え1,000倍以下	20	1									19	19				
1,000倍を超え5,000倍以下																
5,000倍を超え10,000倍以下																
10,000倍を超えるもの																
合 計	494	10	318	85	56	9	88		50	30	166	74	2			90

各種申請届出等事務処理状況

(28. 4. 1～29. 3. 31)

区 分		件数	区 分		件数
消防法に基づくもの(危政令関係)	危険物製造所等設置許可申請	4	火災予防条例に基づくもの	燃料電池発電設備設置届出	
	危険物製造所等変更許可申請	45		変電設備設置届出	27
	危険物製造所等完成検査前検査申請	27		発電設備設置届出	6
	危険物製造所等完成検査申請	38		蓄電池設備設置届出	
	危険物製造所等仮使用承認申請	42		制限行為の解除承認申請	
	危険物製造所等譲渡引渡届出	2		水素ガスを充てんする気球の設置届	
	危険物製造所等種類数量変更届出	11		昇 煙 届 出	91
	危険物製造所等廃止届出	7		煙火打上(仕掛)届出	50
	危険物仮貯蔵(仮取扱)承認申請			催物開催届出	3
	危険物保安監督者選任(解任)届出	32		水道断(減)水届出	18
	予防規程制定(変更)認可申請	4		道路工事届出	437
資料提出及びその他の届出	67	少量危険物貯蔵取扱(廃止)届出	28		
〃(施行令関係)	消 防 計 画 届 出	373	指定可燃物貯蔵取扱(廃止)届出	20	
	防火管理者選任(解任)届出	276	露店等の開設届出	285	
	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱(廃止)届出	48	その他の申請及び届出	3	
	消防用設備等設置届出	328	その他の法令等に基づくもの	危険物製造所等の休止届出	
	消防用設備等着工届出	155		危険物設置者氏名その他変更届出	48
	消防用設備等点検結果報告	1,180		危険物災害事故発生報告	1
裸火等使用許可申請	60	許可証等再交付申請			
火災予防条例に基づくもの	防火対象物使用開始届出	111	液化石油ガス意見書交付申請		
	火を使用する設備等設置届出	炉	2	液化石油ガス設備工事届出	8
		かまど		煙火消費許可申請	5
		ボイラー	11	高圧ガス関係各種届出	
		放電加工機	1	旅館等意見書交付申請	
		温風暖房機		消防水利に関する事前協議申請	13
		ヒートポンプ		諸 証 明 願	41
		厨房設備		計	3,919
その他		11			

消防広報等実施状況

防火広報

(28. 4. 1～29. 3. 31)

区 分	方 法	対 象	回 数	備 考
車 両 広 報	広報車・消防車	一般市民	150	市内全域
	分団消防車	〃	605	各分団管轄区域
文 書 広 報	あしかがみ	〃	7	全戸配布
	機関誌「火災」	防火協会員	3	全会員事業所
	防火チラシ	一般市民	1	全戸配布
街 頭 広 報	キャンペーン・パレード	〃	3	各防火防災団体 358 名

防火座談会

(28. 4. 1～29. 3. 31)

区 分	対 象				計
	一般市民	工場事業所等	自主防災組織	女性防火クラブ	
回	2	3	3	1	9
延 人 員	80	54	126	40	300

防火防災指導

(28. 4. 1～29. 3. 31)

区 分	防 火 対 象 物											そ の 他			計
	小 学 校	中 学 校	高 各 種 学 校	病 院	店 舗	工 事 場 所	幼 保 稚 育 園 所	福 祉 施 設	旅 ホ テ ル	複 合 用 途	自 災 主 組 織	女 性 防 火 ク ラ ブ	そ の 他		
回	21	12	10	18	44	63	29	115	7	39	15			373	
延人員	7,562	4,138	3,728	1,264	663	4,022	3,851	4,802	66	1,482	2,596			34,174	

見 学

(28. 4. 1～29. 3. 31)

区 分	対 象				計	
	幼稚園	保育所	小学校	一般		
庁舎見学	回	9	21	22	4	56
	延人員	509	543	1,364	74	2,490

各種防火団体

1 足利市防火協会

(1) 会の目的

会員相互の融和を図り、防火及び自衛消防の進展を期するとともに、一般の防火防災に寄与することを目的とする。(会則第2条)

(2) 加入事業所

事業所

(29.4.1現在)

部会別	第1部会	官公庁・事業所	247事業所
	第2部会	工場	176事業所
	第3部会	危険物・高圧ガス施設	54事業所
	第4部会	旅館・店舗・サービス業	76事業所
計			553事業所

(3) 結成年月日

昭和37年7月25日

(4) 事業

- ア 防火講習会(研修会)の開催
- イ 各種防火運動への協力
- ウ 機関誌「火災」発行配布
- エ 優良事業所従業員表彰
- オ 優良事業所の視察
- カ 防火ポスター・チラシの配布
- キ 防火標語の募集
- ク その他

2 女性防火クラブ (昭和39年結成、21クラブ、10,963名)

(1) 連合会

名 称	クラブ数	会長	副会長	幹事
足利市女性防火クラブ連絡協議会	21	1	3	4

(2) 単位クラブ

(29.4.1現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	ク ラ ブ 名	クラブ員数
久野地区クラブ	641	上 渋 垂 町 クラ ブ	840
富田地区 "	1,463	朝倉町2丁目 "	452
名草下町 "	259	福富町2丁目 "	660
福居栄町 "	351	堀込町2丁目 "	1,025
名草中町 "	205	福富町1丁目 "	170
名草上町 "	149	小俣町上濁沼 "	287
福居八木町 "	371	葉鹿町熊野 "	667
福居南町 "	357	田 島 町 "	399
福居中里町 "	645	永 楽 町 "	165
百 頭 町 "	637	堀込町1丁目 "	840
島 田 町 "	380		
計	21クラブ		10,963名

3 少年消防クラブ (昭和33年結成、33クラブ、580名)

(1) 連合会

名 称	クラブ数	委員長	副委員長	委員
足利市少年消防クラブ推進委員会	33	1	2	30

(2-1) 単位クラブ (中学校)

(29.4.1現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	ク ラ ブ 名	クラブ員数
第一中学校クラブ	23	西 中 学 校 クラ ブ	31
第二中学校 "	18	山 辺 中 学 校 "	43
第三中学校 "	16	坂 西 中 学 校 "	39
毛野中学校 "	38	協 和 中 学 校 "	34
富田中学校 "	15	愛 宕 台 中 学 校 "	17
北 中 学 校 "	28		
計	11クラブ		302名

(2-2) 単位クラブ (小学校)

(29.4.1現在)

ク ラ ブ 名	クラブ員数	ク ラ ブ 名	クラブ員数
けやき小学校クラブ	16	毛野小学校クラブ	15
青葉小学校 "	46	毛野南小学校 "	9
東山小学校 "	8	山 辺 小 学 校 "	12
桜 小 学 校 "	9	南 小 学 校 "	12

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
三 重 小 学 校 クラブ	12	梁 田 小 学 校 クラブ	13
山 前 小 学 校 "	18	久 野 小 学 校 "	5
北 郷 小 学 校 "	12	筑 波 小 学 校 "	8
大 月 小 学 校 "	9	御 厨 小 学 校 "	16
名 草 小 学 校 "	9	坂 西 北 小 学 校 "	10
富 田 小 学 校 "	10	葉 鹿 小 学 校 "	13
矢 場 川 小 学 校 "	8	小 俣 小 学 校 "	8
計	22クラブ		278名

4 幼年消防クラブ（昭和57年結成、38クラブ、3,941名）

(1) 公立保育所

(29.4.1現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
大 町 保 育 所 クラブ	68	三 重 保 育 所 クラブ	37
羽 刈 保 育 所 "	70	大 前 保 育 所 "	32
山 川 保 育 所 "	92	名 草 保 育 所 "	18
梁 田 保 育 所 "	78	わ た ら せ 保 育 所 "	57
み な み 保 育 所 "	89	に し 保 育 所 "	103
き た 保 育 所 "	58		
計	11クラブ		702名

(2) 私立保育園

(29.4.1現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
小 俣 幼 児 生 活 団 クラブ	102	わ か ば 保 育 園 クラブ	106
や ま ま え 保 育 園 "	124	し ん ま ち 保 育 園 "	76
常 念 寺 保 育 園 "	111	足 利 両 野 保 育 園 "	292
ル ン ビ ニ 保 育 園 "	97	天 王 保 育 園 "	160
足 利 本 城 保 育 園 "	62	ポ ッ ポ 保 育 園 "	94
龍 泉 寺 保 育 園 "	189	ふ く い 保 育 園 "	124
計	12クラブ		1,537名

(3) 私立幼稚園

(29.4.1現在)

ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 名	ク ラ ブ 員 数
足 利 幼 稚 園 クラブ	153	足 利 短 期 大 学 附 属 幼 稚 園 クラブ	151
友 愛 幼 稚 園 "	61	双 葉 學 園 旭 幼 稚 園 "	90
花 園 幼 稚 園 "	93	足 利 い ず み 幼 稚 園 "	126
足 利 み どり 幼 稚 園 "	22	足 利 め ぐ み 幼 稚 園 "	115
足 利 くる み 幼 稚 園 "	219	足 利 こ ぼ と 幼 稚 園 "	136
矢 場 川 幼 稚 園 "	59	足 利 し ら ゆ り 幼 稚 園 "	215
東 光 寺 幼 稚 園 "	155	足 利 さ く ら 幼 稚 園 "	61
山 辺 幼 稚 園 "	46		
計	15クラブ		1,702名

警 防 編

消防車両の配置状況

(1) 消防本部

(8台)

(29.4.1現在)

車別	区分	車名	型式	年式	出力(kW)	登録番号	規格	登録年月日
本部車		三菱	DBA-CV5W	2016	125	とちぎ800さ8763		H28.11.21
訓練指導車		マツダ	ABF-SYE4T	2009	74	とちぎ100す928		H21.8.21
予防1号車		ホンダ	DBE-GJ3	2010	66	とちぎ800さ6518		H22.9.10
予防2号車		ニッサン	CBE-VFY11	2005	78	とちぎ800さ4557		H17.12.19
指揮1号車		トヨタ	CBF-TRH226K	2009	111	とちぎ800さ6107		H21.9.3
指揮2号車		トヨタ	CBF-TRH200K	2012	98	とちぎ800さ6909		H24.2.8
警防広報車		ホンダ	DBA-RG1	2005	114	とちぎ500ぬ7596		H17.7.22
防災広報車		ホンダ	DBA-RN7	2010	103	とちぎ500ほ7720		H22.2.12

(2) 中央消防署

(10台)

梯子車	日野	PK-FH2PLJA改	2007	279	とちぎ800は380	25M屈折	H19.3.2
水槽車	日野	QDG-FR1APBA改	2013	279	とちぎ830せ2013	水槽車	H25.2.28
化学車	日野	KK-FD1JEDA改	2001	220	とちぎ800さ2024	I型	H13.12.5
ポンプ1号車	日野	KK-XZU331M	2003	103	とちぎ800さ2769	CD-I型	H15.1.17
ポンプ2号車	三菱	U-FE538B改	1995	96	栃木88ね7803	CD-I型	H7.1.26
救急1号車	トヨタ	TC-VCH38S	2005	132	とちぎ800さ4165	高規格	H17.3.29
救急2号車	ニッサン	GE-FLWGE50改	2002	177	とちぎ800さ2190	高規格	H14.3.11
作業車	トヨタ	KK-VZU382	2000	96	とちぎ800さ699		H12.7.26
資機材運搬車	三菱	TKG-FGB70	2013	110	とちぎ800さ7301		H25.2.21
広報車	ホンダ	LB-EY8	2003	77	とちぎ800さ2801		H15.2.4

(3) 東分署

(4台)

水槽車	三菱	KC-FK618EW	1996	154	栃木88は2396	I-A型	H8.12.25
ポンプ車	いすゞ	U-NKR58E2N改	1991	88	栃木88ね3306	CD-I型	H3.6.24
救急車	トヨタ	TC-VCH38S	2005	132	とちぎ800さ4070	高規格	H17.1.25
広報車	スズキ	LE-DA62V	2001	36	とちぎ80あ58		H13.10.4

(4) 西分署

(4台)

化学車	日野	KK-FD1JEDA改	1999	162	とちぎ800さ93	I型	H11.12.10
ポンプ車	三菱	U-FE538B改	1994	96	栃木88ね7407	CD-I型	H6.10.27
救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	2016	111	とちぎ830さ2499	高規格	H28.2.15
広報車	ホンダ	GBD-HH6	2009	39	とちぎ880あ241		H21.10.6

(5) 河南消防署

(6台)

化学車	日野	SDG-GX7JGAA改	2014	164	とちぎ830そ2014	I型	H26.12.26
救助工作車	日野	BDG-GX7JGWA改	2008	220	とちぎ830す2008	II型	H20.12.9
ポンプ車	三菱	U-FE337B改	1993	88	栃木88ね6218	CD-I型	H5.12.10
救急1号車	トヨタ	CBF-TRH226S	2012	111	とちぎ830せ1199	高規格	H24.2.14
救急2号車	トヨタ	TC-VCH38S	2003	132	とちぎ800さ3169	高規格	H15.7.22
広報車	ホンダ	GBD-HH6	2009	39	とちぎ880あ240		H21.10.6

(6) 南分署

(4台)

水槽車	日野	BDG-GX7JGWA改	2007	162	とちぎ830ぬ119	I-B型	H19.12.17
ポンプ車	三菱	U-FE538B改	1994	96	栃木88ね7408	CD-I型	H6.10.27
救急車	トヨタ	CBF-TRH226S	2016	111	とちぎ830さ373	高規格	H28.9.5
広報車	スバル	LE-TV2	2007	36	とちぎ880あ154		H19.9.27

主な消防機器の配備状況

(29. 4. 1現在)

種類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署
一般救助用具	かぎ付はしご	4	2			2	
	ワイヤはしご	1				1	
	三連はしご	6	1	1	1	2	1
	空気式救助マット	2	1			1	
	救命索発射銃	3	1			2	
	サバイバースリング	3	2			1	
	平担架	1				1	
重量物排除用具	油圧ジャッキ	2				2	
	油圧スプレッダー	4	1		1	2	
	可搬ウインチ	4	2			1	1
	マンホール救助器具	2				2	
	救助用簡易起重機	1				1	
	マット型空気ジャッキ式	4	1			3	
	大型油圧スプレッダー	2	1			1	
	救助用支柱器具	1				1	
切断用器具	油圧切断機	2				2	
	エンジンカッター	6	1	1	1	2	1
	ガス溶断機	1				1	
	チェーンソー	1				1	
	空気鋸	1				1	
	大型油圧切断機	2	1			1	
	空気切断機	1				1	
破壊用器具	携帯用コンクリート破壊器具	1				1	
	削岩機(ハンマドリル)	2	1			1	
検知・測定用具	生物剤検知器	1				1	
	可燃性ガス測定器	3	1			2	
	有毒ガス測定器	3	1			2	
	酸素濃度測定器	1				1	
	放射線測定器	7	2	1		3	1
隊員保護用具	空気呼吸器	66	25	8	10	16	7
	酸素呼吸器	5	2			3	
	簡易呼吸器	2				2	
	送排風機	1				1	
	耐電衣(7000V)	8	5			3	
	防毒マスク	19	5	3	3	5	3
	化学防護服	18	8			10	
	陽圧式化学防護服	5				5	
	耐熱服	2				2	
	放射線防護服	2				2	
除染用器具	除染シャワー	1	1				
	除染剤散布器	2				2	

種類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署
水難救助用具	潜水器具	6				6	
	水中投光器	3				3	
	救命ボート	7	2	1	1	2	1
	アルミボート	2	2				
	船外機	2	1			1	
	水中スクーター	1				1	
	水中無線機	1				1	
	水中時計	6				6	
検索用具	簡易画像探照機	3	1			2	
高度救助用具	地中音響探知機	1				1	
	熱画像直視装置	1				1	
	夜間用暗視装置	2	1			1	
その他の救助用具	車両移動器具	1				1	
	緩降機	2	1			1	
	ロープ登降機	4				4	
救急器具	耐震式血圧計	7	2	1	1	2	1
	血中酸素飽和度測定器	7	2	1	1	2	1
	患者監視モニター	7	2	1	1	2	1
	手動式人工呼吸器(成人用)	7	2	1	1	2	1
	手動式人工呼吸器(小児・新生児用)	7	2	1	1	2	1
	自動式人工呼吸器	7	2	1	1	2	1
	喉頭鏡セット	7	2	1	1	2	1
	電動吸引器	7	2	1	1	2	1
	気管内挿管セット	7	2	1	1	2	1
	自動体外式除細動器	13	4	2	2	3	2
	自動式心マッサージ器	4		1	1	1	1
	陰圧式患部固定具	6	2	1	1	1	1
その他	泡原液(器具)	1,880	900	200	240	320	220
	オイルフェンス(吸着マット)10M	17	2	3	2	4	6
	そ生法訓練用人形	14	7	1	1	4	1

水防資器材一覧

(29. 4. 1現在)

備蓄場所 品名	大正町水防倉庫	渋垂水防倉庫	福富水防倉庫	寺岡水防倉庫	奥戸水防倉庫	東分署	西分署	河南消防署	小計	分団	合計
ノコギリ	8	8	2	2		5	5	3	33	38	71
なた	5	5	1	1		5	2	5	24	38	62
唐鋏	5	2				2	2	3	14	40	54
大鎌	4								4		4
小鎌	30	15	5	10		10	15	25	110	40	150
掛矢	8	5	2	3		5	5	5	33	57	90
スコップ	25	15	5	3		5	15	5	73	190	263
つるはし	10	5	2	3		3	5	5	33	40	73
ジョレン	10	10	3	3		3	10	6	45	40	85
カッター(鉄線切)	5	2				1	1	3	12	20	32
ペンチ	4	3		1		1	1	5	15	20	35
ハンマー	5	2	1	1		2	2	2	15		15
フルコン袋	4,000	1,500		500		1,500	1,500	2,000	11,000		11,000
シート	20	10				5	5	10	50		50
ロープ	40								40		40
玉縄	35	10	5	10			10	20	90		90
鉄杭	120	30	10	20	30	30	70	100	410		410
木杭	400	200	120	150		30	300	200	1,400		1,400
鉄線	90	50	50	35			10	20	255		255
一輪車	4	1	1	1		1	1	2	11		11
フルコン土のう	600	1,000	2,700	500	500	500	3,000	500	9,300	440	9,740

山林火災器具

(29. 4. 1現在)

種 類	計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署	消防団
可搬式送水装置	4	2		2			
手動ポンプ付水のう	326	90	30	30	15	10	151
携帯用防火セット	34	12	4	4	1		13
熊手	293	13	5	5	5		265
水筒	62	38	12	12			
木鎌	110	13	5	5	12		75

消防水利の現況

(29. 4. 1現在) (基)

種 類		計	中央消防署	東分署	西分署	河南消防署	南分署	
消火栓	公 設	2,879	1,018	397	497	574	393	
	私 設	4	2			2		
防火水槽	公 設	100m ³ 以上	1	1				
		40~100m ³ 未満	27	8	4	6	5	4
		20~40m ³ 未満	279	64	67	76	32	40
	私 設	100m ³ 以上	20	3	1	2	8	6
		40~100m ³ 未満	52	5	3	5	11	28
		20~40m ³ 未満	42	4	1	5	9	23
プ ー ル		45	18	6	8	7	6	

気 象 年 報

(28. 1. 1~28. 12. 31)

項目	月													年間	前年	極 値				平年値
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			最高最多	起年	最低最小	起年	
気 温 ℃	平均	4.3	5.5	9.0	14.5	19.7	22.3	24.8	26.5	23.8	17.4	10.1	6.7	15.4	15.6	16.10	H25年	13.19	S61年	14.7
	最高平均	10.1	11.3	14.2	19.8	25.5	26.7	29.1	31.3	27.3	22.2	14.8	12.6	20.4	20.4	21.65	H25年	18.32	S61年	20.0
	最低平均	-1.1	0.1	3.9	9.1	14.3	18.4	21.5	23.0	21.0	12.9	5.6	1.0	10.8	11.0	11.22	H25年	8.62	S61年	10.2
	最高極	15.7	22.0	20.9	28.1	32.4	33.7	36.2	37.6	33.4	34.6	20.4	17.4	37.6	36.7	40.2				
	起 日	5日	14日	31日	17日	23日	18日	3日	17日	5日	4日	15日	23日	8月17日	8月5日	H19年8月16日				
	最低極	-5.0	-3.5	-2.2	2.0	9.6	9.7	18.8	19.2	17.3	5.3	-2.1	-3.4	-5.0	-4.6					-9.7
	起 日	13日	18日	2日	12日	1日	3日	5日	31日	30日	25日	25日	31日	1月13日	1月14日	S59年1月21日				
湿 度 %	平均	67.1	66.8	70.2	71.4	70.1	75.9	83.6	80.7	86.8	76.2	76.4	66.9	74.4	73.2	77.0	S34年	62.5	H16年	69.2
	最 小	24.4	20.0	14.9	16.9	15.5	25.8	33.8	37.2	44.9	21.1	30.5	27.2	14.9	11.3					4
	起 日	24日	19日	31日	15日	8日	1日	30日	9日	1日	27日	4日	2日	3月31日	3月26日	S40年4月27日				
	最小実効	54.2	61.6	56.4	60.8	55.5	58.7	78.1	68.9	78.3	70.8	63.2	57.2	54.2	48.0					33
起 日	25日	11日	3日	15日	8日	3日	31日	10日	3日	7日	10日	11日	1月25日	1月10日	H19年3月20日					
風 速 m/s	最多風向	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	東北東	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏	静穏					
	平均	1.7	1.7	1.6	1.9	1.6	1.8	1.3	1.4	0.9	1.1	1.1	1.5	1.6	1.6	2.18	S61年	0.31	S39年	2.0
	平均最大	8.8	7.9	9.8	10.0	8.0	8.2	6.3	7.4	4.2	6.8	7.5	9.3	10.0	10.3	21.0				
	その風向	西	西北西	西北西	東	北西	北西	東南東	西南西	東北東	北西	西	西北西	東	西北西					
	起 日	24日	10日	15日	11日	4日	26日	7日	22日	12日	29日	9日	6日	4月11日	2月15日	S34年9月27日				
	瞬間最大	20.4	16.3	18.5	20.5	16.2	14.2	15.5	14.4	12.4	14.0	16.4	19.4	20.5	21.9	31.0				
	その風向	北東	北西	北西	北西	西北西	西北西	北北東	西南西	南東	西北西	北西	西北西	北西	北西					
起 日	18日	21日	1日	11日	4日	2日	4日	22日	13日	29日	6日	6日	4月11日	2月15日	S47年8月3日					
降 水 mm	合計	49.5	21.0	42.0	77.0	58.0	125.5	134.0	257.5	265.5	41.0	70.5	33.0	1174.5	1071.0	1746.5	H3年	694.5	S48年	1240.6
	日最大	38.0	10.5	15.5	27.0	18.0	37.0	48.5	109.5	68.0	20.0	31.0	22.5	109.5	158.0	203.0				
	起 日	18日	20日	9日	7日	17日	13日	19日	22日	7日	28日	11日	14日	8月22日	7月16日	H23年7月19日				
降 雪 cm	合計	2.0	4.0	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	11.5	0.0	95.6	S59年				18.1
	日最大	2.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	5.5	-	5.5	0.0	36.0					
	起 日	20日	25日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24日	-	11月24日	1月30日				H26年2月8日
天 気 9時	晴	23	19	15	14	13	13	11	12	11	17	15	25	188	206	241	H23年	176	H10年	209.4
	曇	4	10	11	11	16	10	14	14	13	11	13	4	131	116	143	S44年	85	H24年	117.6
	雨	3	0	4	5	2	7	6	5	6	3	1	2	44	41	51	S31年	25	S59年	35.9
	雪、みぞれ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2	7	S62年	0		1.7
	霧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	S49年	0		0.9
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
降雨日(≥1mm)	4	6	5	9	8	9	9	14	12	5	7	4	92	97	142	S34年	75	S53年	97.5	
雨日数	7	10	12	14	12	22	19	19	20	11	11	7	164	167	190	H10年	100	S32年	166	
雪日数	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	2	25	S59年	0		6.4	
火災警報発令回数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	15	S45年	0		0.4	

観測開始日 昭和30年 5月 1日
 観測所 足利市河南消防署南分署 (足利市上洪垂町1223番地)
 位置 北緯36度18分2秒 東経139度28分44秒
 観測機器 ㈱日本エレクトリック・インスルメント社製 気象観測システムFWS-4800型
 (風向計、瞬間風速計、温度計、湿度計、雨量計、気圧計)

火 災 編

火災発生状況総括表

(28. 1. 1~28. 12. 31)

区 分	単位	合計	月 別												
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災件数	合計	件	42	4	2	5	6	5	1	1		2	7	1	8
	建物		24	3	2	3	3	2		1		1	4		5
	林野		2				1	1							
	車 自動車		7				1		1			1	3		1
	両 鉄道														
	その他		9	1		2	1	2						1	2
	爆発														
焼損棟数	合計	棟	35	8	4	3	3	3		2		1	6		5
	全焼		9	3	2			1		1		1	1		
	半焼		2										1		1
	部分焼		14	4	2		2	2		1			1		2
	ぼや		10	1		3	1						3		2
建物焼損床面積	㎡	775	138	80		4	10		51		67	360		65	
建物焼損表面積		88	30	42		2	2		5			5		2	
林野焼損面積	a	13				13									
死者	人	2	1									1			
負傷者		10	1		1	6						1		1	
爆発死者															
爆発負傷者															
り災世帯数	合計	世帯	32	4	1	1	3			2		1	14		6
	全損		6	2						1		1	1		1
	半損		1										1		
	小損		25	2	1	1	3			1			12		5
り災人員	人	68	10	1	2	10				3		2	31		9
爆発り災世帯数	世帯														
	人														
損害額	合計	千円	117,227	14,873	3,576	34,004	1,189	6,690	400	789		7,137	42,449		6,120
	建物														
	建築物		33,026	12,350	3,328		91	6,677		733		5,131	1,908		2,808
	収容物		75,636	2,462	248	34,002	33	13				406	37,590		882
	林野														
	車両		8,508	60			1,065		400	2		1,600	2,951		2,430
	その他		57	1		2				54					
爆発															

(注) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

2 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

過去5年間の火災発生状況

区 分		単位	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	5年間の平均	
火災件数	合計	件	42	45	62	64	65	56	
	建物		24	21	32	32	42	30	
	林野		2	1		5	5	3	
	車両	自動車		7	4	7	6	3	5
		鉄道							
	その他		9	19	23	21	15	17	
	爆発								
焼損棟数	合計	棟	35	23	45	35	76	43	
	全焼		9	4	12	4	19	10	
	半焼		2	1	4	5	2	3	
	部分焼		14	7	18	9	21	14	
	ぼや		10	11	11	17	34	17	
建物焼損床面積		㎡	775	294	1,977	1,979	3,431	1,691	
建物焼損表面積			88	15	111	187	299	140	
林野焼損面積		a	13	15	7,200	225	111	1,513	
死者		人	2	3	3	3	6	3	
負傷者			10	6	10	11	13	10	
爆発	死者								
	負傷者								
り災世帯数	合計	世帯	32	11	26	18	38	25	
	全損		6	1	5	3	7	4	
	半損		1	1	3	2		1	
	小損		25	9	18	13	31	19	
り災人員		人	68	22	78	46	118	66	
爆発	り災世帯数	世帯							
	り災人員	人							
損害額	合計	千円	117,227	29,973	333,661	136,929	229,316	169,421	
	建物	建築物	33,026	18,162	68,576	66,461	168,534	70,952	
		収容物	75,636	11,291	39,631	62,050	56,416	49,005	
	林野			214,968	397		43,073		
	車両		8,508	383	7,282	7,060	2,459	5,138	
	その他		57	137	3,204	132	1,907	1,087	
	爆発					829		166	

- (注) 1 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。
 2 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。
 3 平均値は、四捨五入を行っているため数値が整合しない場合がある。
 4 延焼を受けた火災の面積・損害額は、火災報告要領に基づき計上したものの。

地区別火災発生状況

(28. 1. 1~28. 12. 31)

火災別 地区別	合計		建物火災			林野火災		車両火災			その他火災		爆発		出火率		
	件数	千円	件数	焼損面積		件数	焼損面積 a	千円	件数	自動車 (台)	千円	件数	千円	件数		千円	
				床面積 ㎡	表面積 ㎡												千円
合計	42	117,227	24	775	88	108,662	2	13	7	13	8,508	9	57		2.8		
旧市内	2	7,137	1	67		5,537			1	1	1,600				0.8		
毛野	5	12,801	3	126	21	12,801						2			3.3		
山辺	14	48,755	9	430	40	45,734	1		2	5	2,967	2	54		7.0		
三重	2	1,401	1			1,001			1	1	400				2.3		
山前	1	1,065							1	1	1,065				0.8		
北郷	6	2,255	3	10	2	255			1	1	2,000	2			4.5		
名草																	
富田	2	1					1	13				1	1		4.6		
矢場川	1	6,632	1	10		6,632									2.3		
御厨																	
筑波	4	34,260	2			34,000			1	1	260	1			10.9		
久野																	
梁田	1	2										1	2		2.3		
三和	2	567	2	62	16	567									5.0		
葉鹿	1	1,123	1	12	9	1,063				1	60				1.4		
小俣	1	1,228	1	58		1,072				2	156				1.5		

(注) 1 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

2 延焼を受けた火災の面積・損害額は、火災報告要領に基づき計上したものの。

分団別火災発生状況

(28. 1. 1~28. 12. 31)

分団別	火災別	合計		建物火災			林野火災		車両火災			その他火災		爆発				
		件数	損害額 千円	件数	焼損面積		損害額 千円	件数	焼損面積 a	損害額 千円	件数	鉄 道	自動車 (台)	損害額 千円	件数	損害額 千円	件数	損害額 千円
					床面積	表面積												
				㎡	㎡													
合計	42	117,227	24	775	88	108,662	2	13		7	13		8,508	9	57			
第1分団区																		
第2分団区	2	5,590	2	67	2	5,590												
第3分団区	6	14,401	3	126	21	12,801				1	1		1,600	2				
第4分団区	9	45,956	7	430	38	45,625	1				3		277	1	54			
第5分団区	5	2,799	2		2	109				2	2		2,690	1				
第6分団区	2	1,401	1			1,001				1	1		400					
第7分団区	1	1,065								1	1		1,065					
第8分団区	5	2,202	2	10		202				1	1		2,000	2				
第9分団区																		
第10分団区	2	1					1	13						1	1			
第11分団区	1	6,632	1	10		6,632												
第12分団区																		
第13分団区	4	34,260	2			34,000				1	1		260	1				
第14分団区																		
第15分団区	1	2												1	2			
第16分団区	1	1,123	1	12	9	1,063					1		60					
第17分団区	1	1,228	1	58		1,072					2		156					
第18分団区	2	567	2	62	16	567												
第19分団区																		

(注) 1 火災が2種以上にわたった場合は、件数は火災報告取扱要領に基づいて計上し、損害額はそれぞれの種別の損害額に計上した。

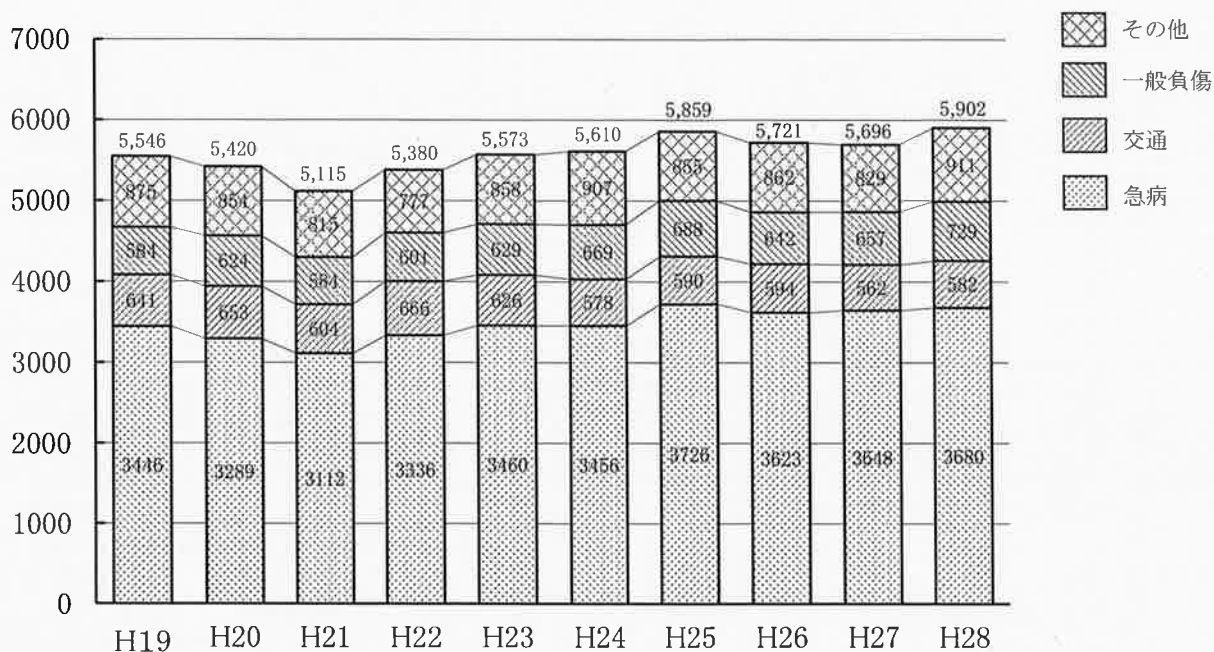
2 延焼を受けた火災の面積・損害額は、火災報告要領に基づき計上した。

出火原因別火災発生状況

区分	平成 28 年 (件)	火 災 件 数					平 成 27 年 (件)	平 成 26 年 (件)	平 成 25 年 (件)	平 成 24 年 (件)	
		建 物 火 災	林 野 火 災	計	車 両 火 災						の そ の 火 の 災 他
					自 動 車	鉄 道					
合 計	42	24	2	7	7		9	45	62	64	65
たばこ	2						2	7	6	7	7
こんろ	4	4						2	8	6	5
かまど									1	1	1
風呂かまど											
炉											
焼却炉											
ストーブ	1	1								2	5
こたつ									1		
ボイラー											1
煙突・煙道	1	1						1		1	
排気管	2			2	2			1	1	1	1
電気機器	2	2						1	1	2	3
電気装置	1			1	1						2
電灯・電話の配線	1						1	2	1	1	1
内燃機関											
配線器具								3	2	4	4
火遊び								1	2	3	2
マッチ・ライター	1	1							2	1	1
たき火	2		1				1	3	5	4	3
溶接機・溶断機										1	
灯 火									1		
衝突火花									1		
取 灰	1	1							1	2	
火 入 れ									3	3	1
放 火	5	2		2	2		1	3	4	2	7
放火の疑い	8	5	1				2	4	5	5	6
そ の 他	8	4		2	2		2	13	12	12	9
不明・調査中	3	3						4	5	6	6

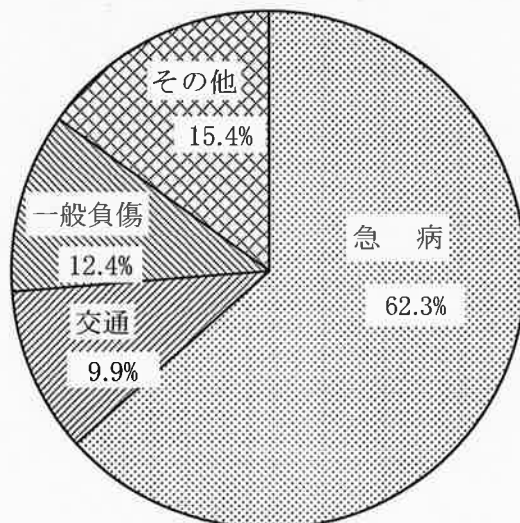
救 急 編

救急出動件数(10年間の推移)



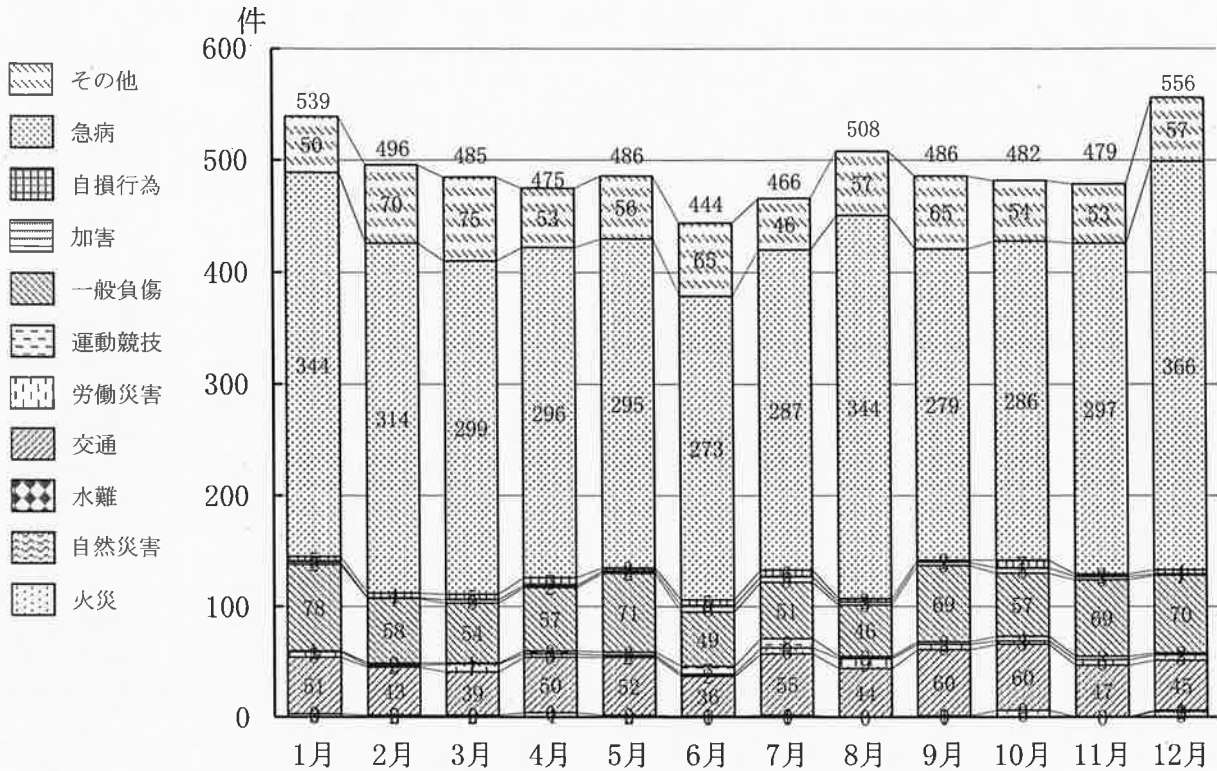
区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
急病	3,446	3,289	3,112	3,336	3,460	3,456	3,726	3,623	3,648	3,680
交通	641	653	604	666	626	578	590	594	562	582
一般負傷	584	624	584	601	629	669	688	642	657	729
その他	875	854	815	777	858	907	855	862	829	911
合計	5,546	5,420	5,115	5,380	5,573	5,610	5,859	5,721	5,696	5,902

救急出動内訳(平成28年中)



月別救急出動件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)



月別事故種別救急出動件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)

月別 事故種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	2	2	4	2	1	1	-	1	6	-	5	27
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水難	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2
交通	51	43	39	50	52	36	55	44	60	60	47	45	582
労働災害	5	2	7	3	2	2	6	9	5	3	5	5	54
運動競技	1	2	1	3	3	7	8	2	2	4	3	2	38
一般負傷	78	58	54	57	71	49	51	46	69	57	69	70	729
加害	2	1	3	2	2	6	5	3	3	5	3	1	36
自損行為	5	4	5	7	3	5	6	3	2	7	2	4	53
急病	344	314	299	296	295	273	287	344	279	286	297	366	3,680
その他	50	70	75	53	56	65	46	57	65	54	53	57	701
合計	539	496	485	475	486	444	466	508	486	482	479	556	5,902

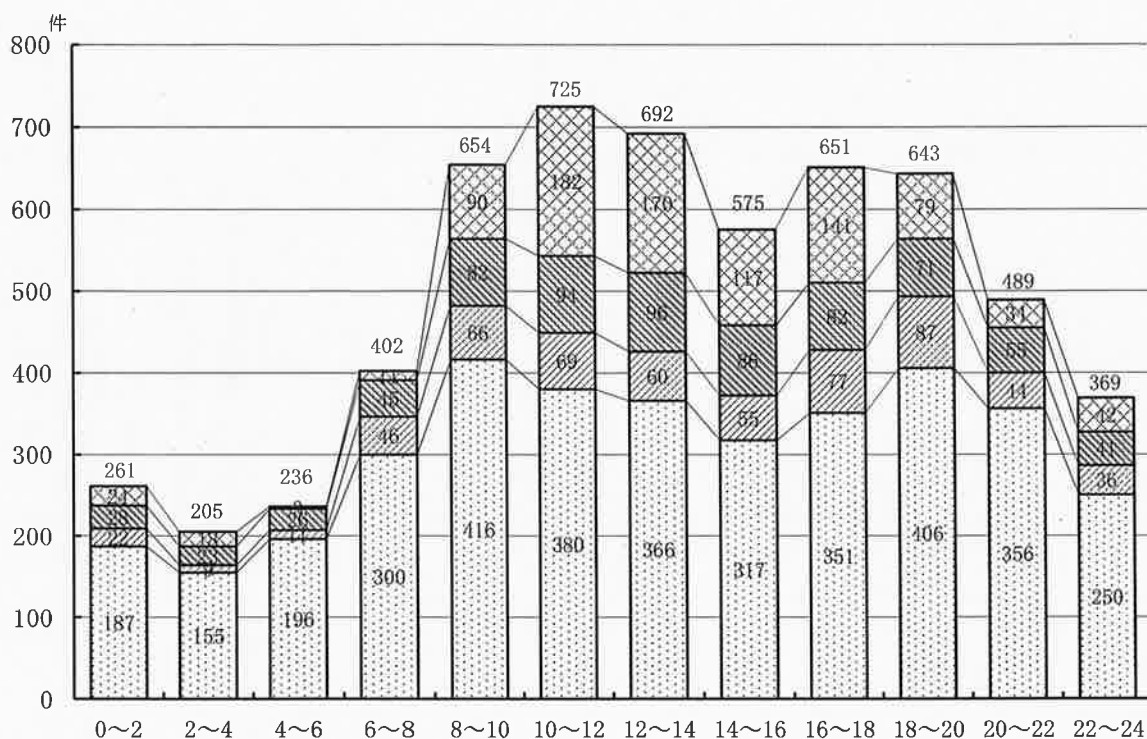
曜日別出動件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)

区分	日	月	火	水	木	金	土	合計
急病	568	564	503	508	473	501	563	3,680
交通	75	78	80	82	79	95	93	582
一般負傷	102	97	110	93	94	111	122	729
その他	77	142	160	138	137	143	114	911
合計	822	881	853	821	783	850	892	5,902

時間別出動件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)



事故種別	時間別											
	0 2	2 4	4 6	6 8	8 10	10 12	12 14	14 16	16 18	18 20	20 22	22 24
急病	187	155	196	300	416	380	366	317	351	406	356	250
交通	22	9	11	46	66	69	60	55	77	87	44	36
一般負傷	28	23	26	45	82	94	96	86	82	71	55	41
その他	24	18	3	11	90	182	170	117	141	79	34	42
合計	261	205	236	402	654	725	692	575	651	643	489	369

覚知別出動件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)

覚知別	専用電話	加入電話	警察電話	かけつけ	その他	合計
出場件数	5,094	212	341	27	228	5,902
構成割合(%)	86.3	3.6	5.8	0.4	3.9	100

署別出動件数

年 署 別	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
中央署	1,810	1,735	1,694	1,706	1,689	1,715	1,714	1,711	1,699	1,829
東分署	541	522	503	531	559	702	715	726	652	582
西分署	999	1,040	930	1,020	1,030	1,035	1,083	1,096	1,070	1,063
河南署	1,355	1,313	1,254	1,288	1,369	1,350	1,488	1,369	1,423	1,481
南分署	841	810	734	835	926	808	859	819	852	947
合計	5,546	5,420	5,115	5,380	5,573	5,610	5,859	5,721	5,696	5,902

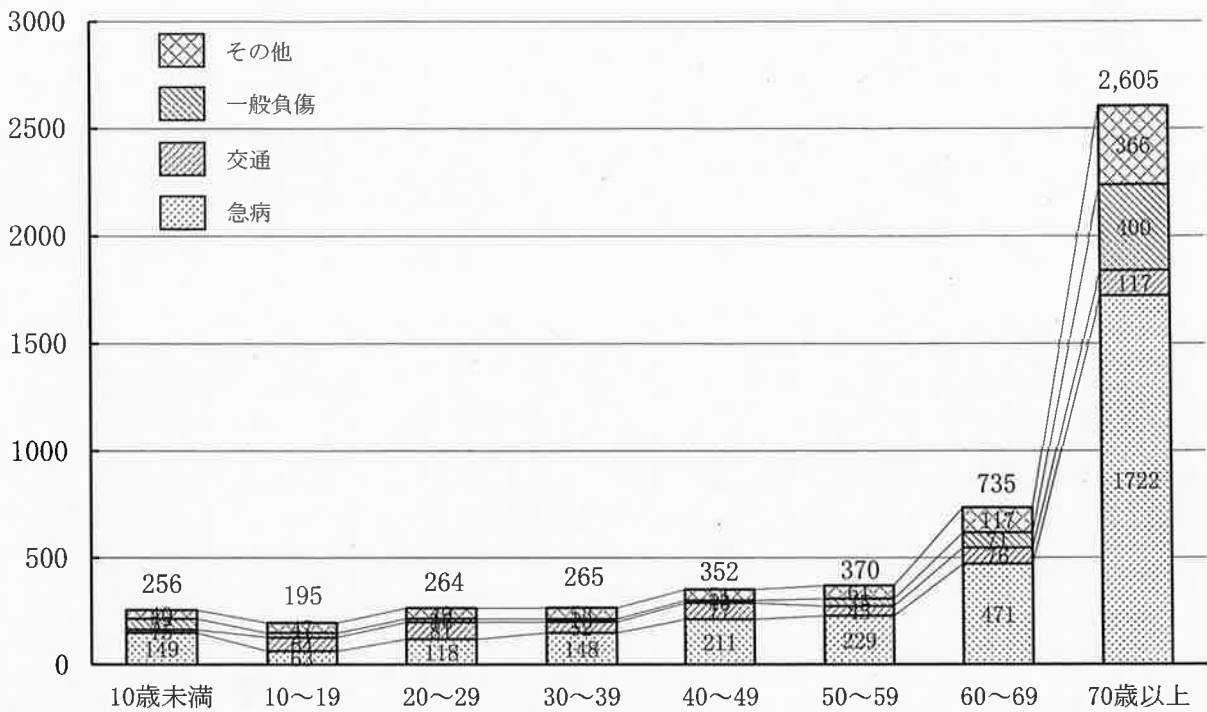
地区別出動件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)

区 分	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
旧市内	843	141	140	216	1,340
毛野	361	58	66	41	526
山辺	514	92	127	192	925
三重	206	30	52	93	381
山前	312	39	61	68	480
北郷	250	43	64	84	441
名草	34	4	7	3	48
富田	85	12	24	33	154
矢場川	86	12	14	28	140
御厨	321	52	43	38	454
筑波	92	13	17	14	136
久野	63	13	8	8	92
梁田	87	26	16	19	148
三和	110	4	22	8	144
葉鹿	163	28	32	44	267
小俣	149	12	36	22	219
市外	4	3	—	—	7
合計	3,680	582	729	911	5,902

年齢別搬送人員

(28. 1. 1~28. 12. 31)



区分	10歳未満	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	合計
急病	149	63	118	148	211	229	471	1,722	3,111
交通	15	64	81	52	77	45	76	117	527
一般負傷	52	21	16	13	13	35	71	400	621
その他	40	47	49	52	51	61	117	366	783
合計	256	195	264	265	352	370	735	2,605	5,042

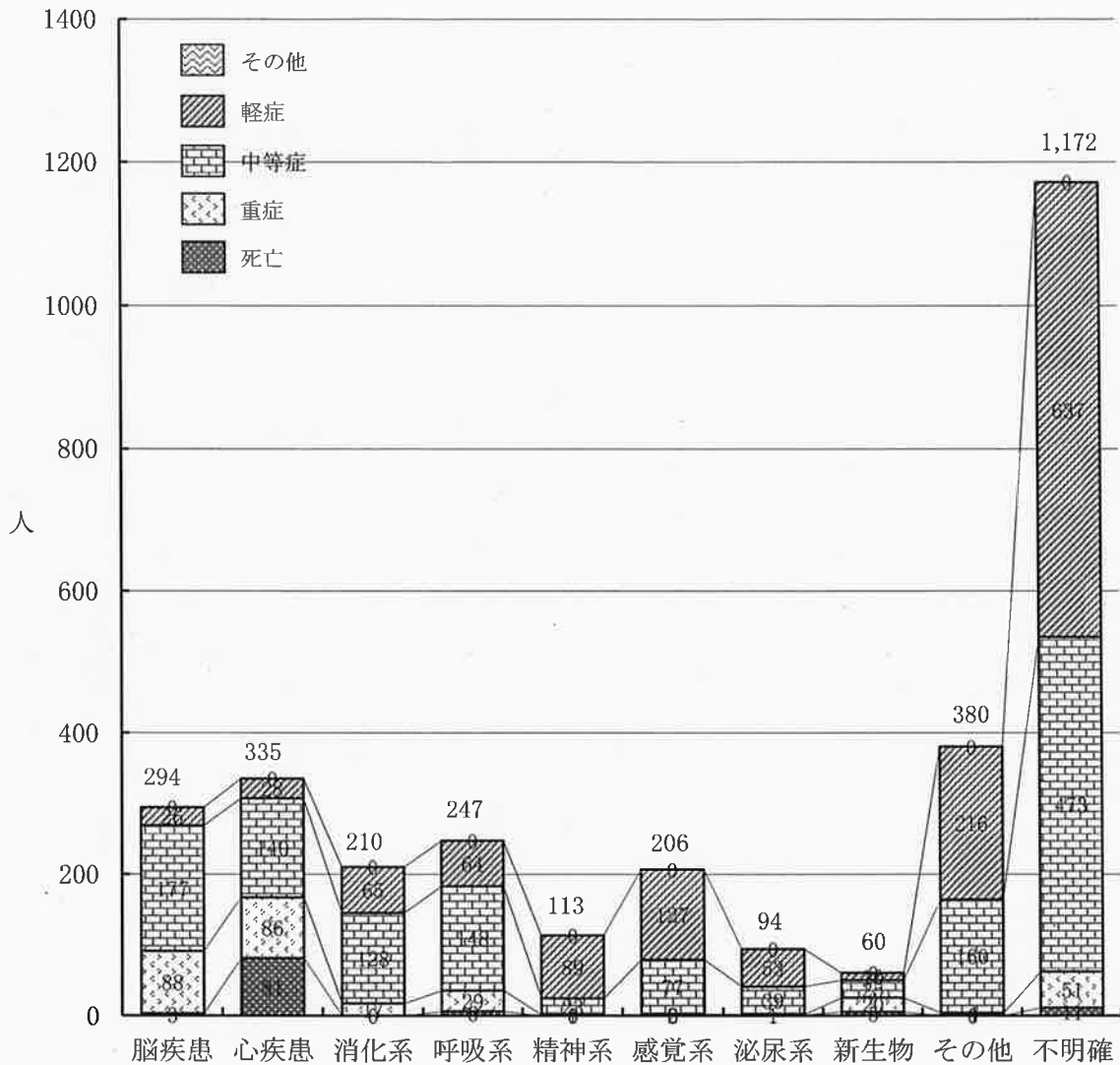
事故種別・傷病程度別搬送人員

(28.1. 1~28. 12. 31)

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡	—	—	—	2	1	—	4	—	6	107	1	121
重症	—	—	—	21	5	—	69	3	7	299	130	534
中等症	—	—	—	60	22	11	213	4	16	1,390	444	2,160
軽症	7	—	—	444	25	28	335	20	8	1,315	45	2,227
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	7	—	—	527	53	39	621	27	37	3,111	620	5,042

急病に係る疾病・傷病程度別搬送人員

(28. 1. 1~28. 12. 31)



疾病種類 区分	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
死亡	3	81	-	6	-	-	1	5	-	11	107
重症	88	86	17	29	1	2	1	20	4	51	299
中等症	177	140	128	148	23	77	39	25	160	473	1,390
軽症	26	28	65	64	89	127	53	10	216	637	1,315
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	294	335	210	247	113	206	94	60	380	1,172	3,111

救急隊員の行った応急処置件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)

区 分		急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
応 急 処 置	止 血	30	45	105	33	213
	固 定	35	262	172	58	527
	人 工 呼 吸	16	-	2	6	24
	心 肺 蘇 生	140	2	14	9	165
	酸 素 吸 入	1,032	40	49	250	1,371
	気 道 確 保	222	3	16	15	256
	保 温	14	4	6	10	34
	被 覆	31	98	160	55	344
	血 圧 測 定	2,899	517	585	748	4,749
	聴 診 器	1,543	260	202	301	2,306
	血中酸素飽和度測定	2,976	523	607	770	4,876
	心 電 図 測 定	2,400	138	274	517	3,329
	血 糖 測 定	32	-	1	2	35
	そ の 他	6	-	1	3	10
救 命 処 置	除 細 動	23	-	1	-	24
	ラリンゲアルマスク等	(22)	(-)	(1)	(2)	(25)
	気 管 挿 管	(7)	(-)	(4)	(-)	(11)
	輸 液 (CPA 前)	8	3	-	-	11
	輸 液 (CPA 後)	47	-	4	1	52
	アドレナリン投与	24	-	1	3	28
	ブドウ糖投与	6	-	-	-	6
処 置 件 数		11,484	1,895	2,200	2,781	18,360
対 象 人 員		3,111	527	621	783	5,042

()内は気道確保に含まれる。

応急手当指導件数

(28. 1. 1~28. 12. 31)

講 習 区 分	普 通 救 命	上 級 救 命	普 及 員	救 急 法							合 計
				自 治 会 防 災 訓 練	保 育 所 等	小 中 学 校	高 校	そ の 他 学 校	事 業 所	そ の 他	
実 施 回 数	36	1	2	18	14	32	5	1	17	26	152
受 講 人 員	1,065	16	45	2,795	205	1,040	144	43	303	593	6,249

(注) 普通救命・上級救命・普及員は再講習を含む。

救 助 編

救助出動及び活動状況

(28. 1. 1 ~ 28. 12. 31)

区分 事故種別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自風 然水 災害 等	事機 械に よ ぐる	事建 物等 に よ ぐる	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	のそ の他 の故	合 計
	建 物	建 物以 外									
出 動 件 数	18	8	35	4			29			25	119
活 動 件 数	14	3	20	3			21			14	75

署別出動状況

(28. 1. 1 ~ 28. 12. 31)

署所別 事故種別		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自風 然水 災害 等	事機 械に よ ぐる	事建 物等 に よ ぐる	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	のそ の他 の故	合 計
		建 物	建 物以 外									
中 央 消 防 署	中 央	3	2	10	2			13			7	37
	西	4	1	3				6			6	20
	東	1	1	9	1			3			4	19
小 計		8	4	22	3			22			17	76
河 南 消 防 署	河 南	8	3	3	1			6			7	28
	南	2	1	8				1			1	13
小 計		10	4	11	1			7			8	41
市 外				2								2
合 計		18	8	35	4			29			25	119

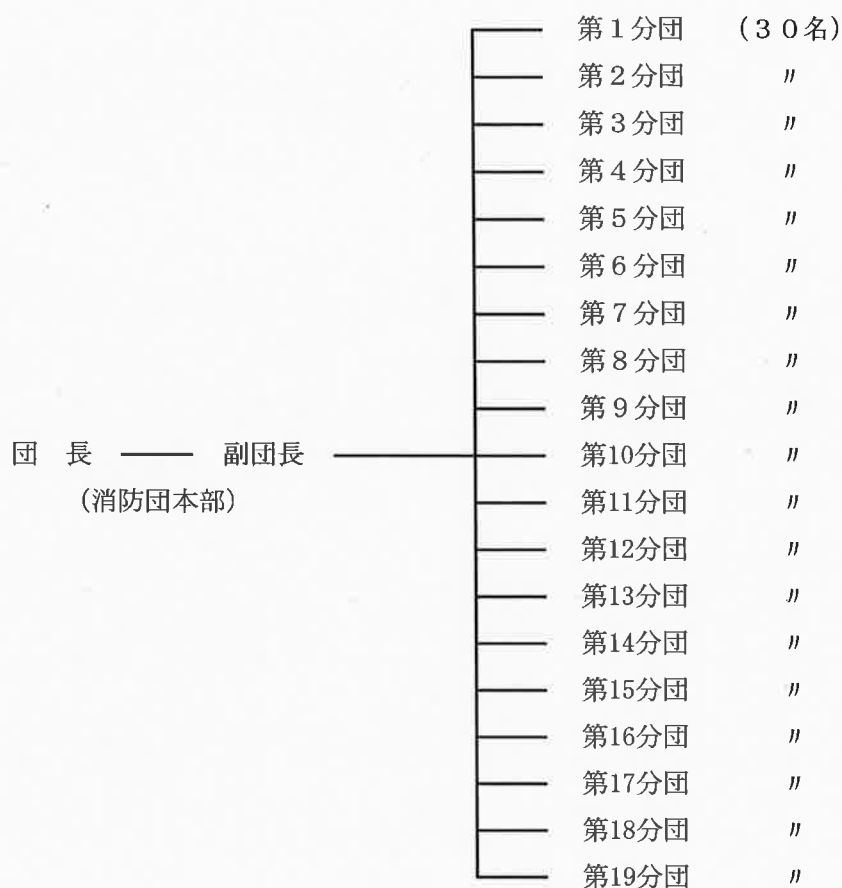
月別出動状況

(28. 1. 1~28. 12. 31)

事故種別 月別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自風 然水 災害 害等	機 械 に よ る 事 故	事建 物等 に よ る 事 故	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	事そ の 他 の 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
1 月	3		2				2			1	8
2 月	2		3				1			1	7
3 月	2		3				6			2	13
4 月	2	1	2	1			4			1	11
5 月	1	1	4	1						6	13
6 月		1	3				2			1	7
7 月	1			1						5	7
8 月			2				3			2	7
9 月	1	1	4				3			3	12
10月	3	3	2				2			1	11
11月			7				3			1	11
12月	3	1	3	1			3			1	12
合 計	18	8	35	4			29			25	119
平成27年	17	7	45	1		2	12			22	106
平成26年	25	6	32	6		2	5			21	97
平成25年	21	7	29	1		3	5			16	82
平成24年	32	3	26	1		5	9			13	89
平成23年	24	7	40	6		10	3			16	106

消 防 団 編

消 防 団 の 組 織



構成 (定員)

区 分	階 級								
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	班 長	団 員	計
団 編 制	1	3	19	19	19	19	57	437	574
1 箇分団編制			1	1	1	1	3	23	30

団員報酬等

階 級 別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	班 長	団 員
報酬(年額)	187,000	134,000	99,000	77,000	67,000	56,000	51,000	48,000

機関員 (1 箇分団 3 名) には年 5, 0 0 0 円を加給する。

火災及び訓練その他の出場旅費 1 人 1 回 2, 0 0 0 円

その他

団本部交付金は、年 5 0 0, 0 0 0 円

分団交付金は、1 箇分団年 3 5 0, 0 0 0 円

消防ポンプ自動車購入、修繕、燃料、建物修理及び被服費などは市費で賄っている。

消防団員の在職年数及び年齢

在職年数別階級別

(29.4.1現在) (人)

階級別 在職年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	班 長	団 員	計
5年未満								146	146
5年～9年				1	1	1	9	110	122
10年～14年			2	2	4	4	14	63	89
15年～19年			3	3	5	7	20	36	74
20年～24年		1	3	7	5	4	9	12	41
25年～29年		1	6	5	4	2	5	2	25
30年以上	1	1	5	1		1		1	10
計	1	3	19	19	19	19	57	370	507
平均在職年数(年)	33.0	28.3	24.0	21.0	19.2	18.4	15.6	7.4	10.5

年齢別階級別

(29.4.1現在) (人)

階級別 年 齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	班 長	団 員	計
18歳以上～20歳未満								1	1
20歳以上～25歳未満								38	38
25歳以上～30歳未満								35	35
30歳以上～35歳未満							2	70	72
35歳以上～40歳未満				1		1	8	85	95
40歳以上～45歳未満			4	5	7	6	22	93	137
45歳以上～50歳未満			4	6	10	7	17	32	76
50歳以上～55歳未満		2	7	6	1	4	8	8	36
55歳以上～60歳未満		1	4	1	1	1		5	13
60歳以上～65歳未満	1							3	4
65歳以上									0
計	1	3	19	19	19	19	57	370	507
平均年齢(歳)	61.0	53.3	49.1	47.4	45.9	46.3	43.7	36.3	38.9

分 団 詰 所 の 現 況

(29. 4. 1現在)

区分 名称	所在地	構 造	棟 数	建築面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月日
第 1 分 団	緑町1丁目6-3	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	294.89	H 3. 3. 25
第 2 分 団	助戸3丁目518-18	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	520.09	H10. 12. 15
第 3 分 団	八柵町81-4	鉄骨造平家建	1	95.95	604.71	H12. 3. 14
第 4 分 団	八幡町3丁目1-1	鉄骨造平家建	1	95.95	515.02	H14. 2. 28
第 5 分 団	田中町924-1	壁式鉄筋コンクリート造 平家建	1	61.60	246.33	S61. 3. 28
第 6 分 団	五十部町327-3	鉄筋コンクリート造2階建	1	98.00	185.56	H 8. 12. 26
第 7 分 団	山下町1313-1	鉄骨造平家建	1	95.95	824.91	H19. 3. 15
第 8 分 団	利保町3丁目7-5	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	338.15	H 4. 3. 6
第 9 分 団	名草中町1505	鉄骨造平家建	1	95.95	926.00	H24. 3. 26
第 1 0 分 団	駒場町749-2	鉄筋コンクリート造平家建	1	72.25	686.62	S63. 10. 31
第 1 1 分 団	里矢場町2143	木造スレート瓦葺平家建	1	59.62	301.00	S58. 2. 28
第 1 2 分 団	島田町793-1	鉄筋コンクリート造平家建	1	72.25	354.84	H 2. 3. 20
第 1 3 分 団	小曾根町515	木造スレート瓦葺平家建	1	56.31	172.55	S53. 10. 28
第 1 4 分 団	久保田町236-2	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	446.94	H 5. 12. 13
第 1 5 分 団	福富町400-3	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	490.20	H 9. 12. 19
第 1 6 分 団	葉鹿町648-1	鉄骨造平家建	1	95.95	851.84	H29. 3. 17
第 1 7 分 団	小俣町1510-1	鉄骨造平家建	1	95.95	1,142.20	H13. 3. 15
第 1 8 分 団	松田町445-1	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	563.05	H 7. 2. 5
第 1 9 分 団 (松田)	松田町2016-4	鉄筋コンクリート造平家建	1	81.00	450.47	H 7. 12. 27
第 1 9 分 団 (小俣)	小俣町3364-1	木造スレート瓦葺平家建	1	61.71	347.36	S58. 12. 6

消防車両の配置状況

(29.4.1現在)

区分 名称	車名	型式	年式	出力 (kW)	登録番号	規格	登録年月日
第1分団	日野	TKG-XZU600E	2015	110	とちぎ800さ8326	CD-I型	H27.11.17
第2分団	日野	TKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ7186	CD-I型	H24.11.2
第3分団	日野	TKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ7187	CD-I型	H24.11.2
第4分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4725	CD-I型	H9.11.21
第5分団	日野	SKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ6911	CD-I型	H24.2.13
第6分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6091	CD-I型	H21.8.19
第7分団	日野	TKG-XZU600E	2014	110	とちぎ800さ7898	CD-I型	H26.11.10
第8分団	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9494	CD-I型	H7.11.21
第9分団	日野	SKG-XZU600E	2012	110	とちぎ800さ6912	CD-I型	H24.2.13
第10分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6092	CD-I型	H21.8.19
第11分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2198	CD-I型	H8.12.4
第12分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4726	CD-I型	H9.11.21
第13分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2199	CD-I型	H8.12.4
第14分団	トヨタ	BDG-XZU334	2009	110	とちぎ800さ6093	CD-I型	H21.8.19
第15分団	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9495	CD-I型	H7.11.21
第16分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4727	CD-I型	H9.11.21
第17分団	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2200	CD-I型	H8.12.4
第18分団	三菱	KC-FE568B	1997	96	栃木88は4728	CD-I型	H9.11.21
第19分団 (松田)	三菱	KC-FE538B改	1995	96	栃木88ね9496	CD-I型	H7.11.21
第19分団 (小俣)	三菱	KC-FE538B改	1996	96	栃木88は2201	CD-I型	H8.12.4

足利市消防の歌

三田忠夫・作詞
明本京静・作曲

(一) 渡良瀬の 流れとともに

伝統の 歴史はかおる

おお

団結の 誓もかたく

消防の 使命つらぬく

おおわれら われら足利 足利の消防

(二) サイレンの 音響かせて

救急車 人命救助

おお

西ひがし 神速果敢

寸秒の 時を刻んで

おおわれら われら足利 足利の消防

(三) 事あらば 身命賭して

災害の 鎮めにむかう

おお

鍛えたる 精神と技を

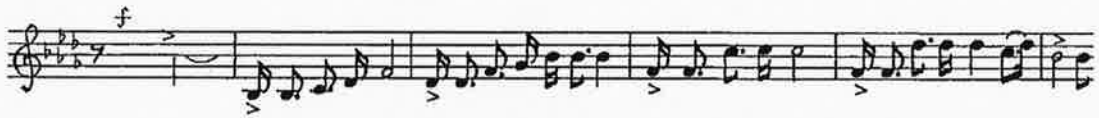
發揮する 時はいまぞと

おおわれら われら足利 足利の消防

足利市消防の歌



1. わたらせの ながれとともに でんとうの れきしはかおーるー
2. サイレンの おとひびかせて きゅうきゅうしゃ じんめいきゅうーじょー
3. ことあらば しんめいとして さいがいの しずめにむかーうー



おう だんけつの ちかいもかたく しょうぼうの しめいつらぬーくー
 おう にしひがし しんそくかかん すんびょうの ときをきざんーでー
 おう きたえたる こところとわざを はっきする ときはいまぞーとー



おおーわーれーら わーれらあしーかーが あし かがの しょうぼう
 おおーわーれーら わーれらあしーかーが あし かがの しょうぼう
 おおーわーれーら わーれらあしーかーが あし かがの しょうぼう

編集・発行 足利市消防本部 消防総務課
 〒326-0807 栃木県足利市大正町 863
 TEL 0284-41-3197
 FAX 0284-42-9920